



## INDEX

### 数字

#### 10 ギガビット イーサネット インターフェイス

設定時の注意事項 [12-19](#)

定義済み [12-7](#)

#### 3 値連想メモリ

「TCAM」を参照

### A

AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 [1-13](#)

ABR [38-28](#)

access-class コマンド [34-22](#)

#### ACE

IP [34-2](#)

QoS と [35-8](#)

イーサネット [34-2](#)

定義済み [34-2](#)

#### ACL

ACE [34-2](#)

#### IP

暗黙の拒否 [34-11](#), [34-17](#), [34-19](#)

暗黙のマスク [34-11](#)

一致基準 [34-8](#)

作成する [34-8](#)

フラグメントと QoS の注意事項 [35-40](#)

未定義 [34-24](#)

#### IPv4

一致基準 [34-8](#)

インターフェイスに対して適用する [34-22](#)

数 [34-9](#)

作成する [34-8](#)

端末回線、設定する [34-22](#)

名前付き [34-17](#)

非サポート機能 [34-8](#)

#### IPv6

一致条件 [40-3](#)

インターフェイスへの適用 [40-8](#)

サポートしない機能 [40-3](#)

サポート対象 [40-3](#)

スタッキング [40-3](#)

制限 [40-3](#)

設定 [40-4](#), [40-5](#)

名前付き [40-3](#)

表示 [40-9](#)

他の機能との相互作用 [40-4](#)

優先 [40-2](#)

MAC 拡張 [34-30](#), [35-52](#)

QoS [35-8](#), [35-49](#)

QoS クラス マップごとの数 [35-40](#)

QoS のトラフィックを分類する [35-49](#)

#### VLAN マップ

設定時の注意事項 [34-34](#)

設定する [34-33](#)

VLAN マップでルータ ACL を使用する [34-41](#)

エントリの並べ替え [34-17](#)

拡張 IP、QoS 分類を設定する [35-51](#)

#### 拡張 IPv4

一致基準 [34-8](#)

作成する [34-12](#)

コメント [34-21](#)

コンパイルする [34-26](#)

サポート [1-11](#)

サポートされない機能、IPv6 [40-3](#)

サポートされるタイプ [34-2](#)

時間範囲 [34-19](#)

照合 [34-8](#), [34-24](#), [40-3](#)

すべてのキーワード [34-15](#)

定義済み [34-2](#), [34-8](#)

適用

IPv6 インターフェイス [40-8](#)

適用する

QoS に対する [35-8](#)

インターフェイスに対する [34-22](#), [40-8](#)

時間範囲 [34-19](#)

スイッチド パケットでの [34-43](#)

ブリッジド パケットでの [34-43](#)

マルチキャスト パケットでの [34-45](#)

ルーテッド パケットでの [34-44](#)

名前 [40-4](#)

名前付き、IPv4 [34-17](#)

名前付き、IPv6 [40-3](#)

ハードウェアでのサポート [34-24](#)

ハードウェアとソフトウェアの処理 [34-24](#)

非サポート機能、IPv4 [34-8](#)

標準 IP、QoS 分類を設定する [35-50](#)

標準 IPv4

一致基準 [34-8](#)

作成する [34-11](#)

ポート [34-2](#), [40-2](#)

ホスト キーワード [34-15](#)

モニタリング [34-46](#), [40-9](#)

優先順位 [34-3](#)

ルータ [34-2](#), [40-2](#)

ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事項 [34-42](#)

例 [34-26](#), [35-49](#)

レイヤ 4 情報 [34-42](#)

ロギング メッセージ [34-10](#)

AC (コマンド スイッチ) [6-11](#)

ARP

カプセル化 [38-12](#)

スタティック キャッシュの設定 [38-11](#)

設定 [38-11](#)

定義済み [1-7](#), [7-24](#), [38-10](#)

テーブル

アドレス解決 [7-24](#)

管理する [7-24](#)

AS、BGP 内 [38-52](#)

ASBR [38-28](#)

AS パス フィルタ、BGP [38-59](#)

Auto-MDIX

設定する [12-23](#)

説明 [12-23](#)

Autonomous System Boundary Router

「ASBR」を参照

## B

BackboneFast

イネーブルにする [20-17](#)

サポート [1-9](#)

説明 [20-8](#)

ディセーブルにする [20-17](#)

Berkeley r-tool の置換 [9-57](#)

BGP

CIDR [38-65](#)

clear コマンド [38-69](#)

Multi-VRF CE によるルーティング セッション [38-90](#)

show コマンド [38-69](#)

イネーブル化 [38-52](#)

コミュニティ フィルタリング [38-62](#)

サポート [1-16](#)

集約アドレス [38-65](#)

集約ルート、設定 [38-65](#)

スーパーネット [38-65](#)

セッションのリセット [38-55](#)

説明 [38-49](#)

デフォルト設定 [38-50](#)

ネイバー、タイプ [38-52](#)

ネイバーの設定 [38-64](#)

バージョン 4 [38-49](#)

パス選択 [38-56](#)

- ピア、設定 [38-64](#)
  - プレフィックス フィルタリング [38-61](#)
  - マルチパス サポート [38-56](#)
  - モニタリング [38-69](#)
  - ルーティング ドメイン連合 [38-66](#)
  - ルート ダンプニング [38-68](#)
  - ルート マップ [38-59](#)
  - ルート リフレクタ [38-67](#)
  - BPDU**
    - errdisable ステート [20-2](#)
    - RSTP 形式 [19-12](#)
    - フィルタリング [20-3](#)
  - BPDU ガード**
    - イネーブルにする [20-14](#)
    - サポート [1-9](#)
    - 説明 [20-2](#)
    - ディセーブルにする [20-15](#)
  - BPDU フィルタリング**
    - イネーブルにする [20-15](#)
    - サポート [1-9](#)
    - 説明 [20-3](#)
    - ディセーブルにする [20-16](#)
  - broadcast storm-control コマンド [25-4](#)
- 
- C**
- Catalyst 6000 スイッチ
    - 認証の互換性 [10-9](#)
  - CA トラストポイント
    - 設定する [9-54](#)
    - 定義済み [9-52](#)
  - CDP**
    - LLDP での定義 [27-1](#)
    - アップデート [26-3](#)
    - イネーブルとディセーブル
      - インターフェイス上で [26-4](#)
      - スイッチ上で [26-4](#)
    - 概要 [26-1](#)
    - サポート [1-7](#)
  - 信頼境界と [35-46](#)
  - スイッチ クラスタでの自動検出 [6-5](#)
  - スイッチ スタックの考慮事項 [26-2](#)
  - 設定する [26-2](#)
  - 説明 [26-1](#)
  - 送信タイマーとホールドタイム、設定する [26-3](#)
  - デフォルト設定 [26-2](#)
  - 電力ネゴシエーションの拡張機能 [12-8](#)
  - モニタリング [26-5](#)
  - ルーティング デバイスをディセーブルにする [26-4](#)
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-8](#)
  - CEF**
    - distributed [38-96](#)
    - IPv6 [39-22](#)
    - イネーブル化 [38-96](#)
    - 定義 [38-96](#)
  - CE デバイス内の Multi-VRF**
    - 「Multi-VRF CE」を参照
  - CGMP**
    - IGMP スヌーピング ラーニング方式としての [24-9](#)
    - 概要 [46-10](#)
    - キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア [46-66](#)
    - サーバ サポート機能 [46-10](#)
    - サーバ サポートのイネーブル化 [46-47](#)
    - スイッチ サポート [1-5](#)
    - マルチキャスト グループに加入する [24-3](#)
  - CIDR** [38-65](#)
  - CipherSuite [9-53](#)
  - Cisco 7960 IP 電話 [15-1](#)
  - Cisco Discovery Protocol
    - 「CDP」を参照
  - Cisco Group Management Protocol
    - 「CGMP」を参照
  - Cisco IOS DHCP サーバ
    - 「DHCP、Cisco IOS DHCP サーバ データベース」を参照
  - Cisco IOS File System
    - 「IFS」を参照

- Cisco IOS IP SLA [43-2](#)
  - Cisco Redundant Power System 2300
    - 管理する [12-32](#)
    - 設定する [12-32](#)
  - Cisco Secure ACS
    - ダウンロード可能な ACL の属性と値のペア [10-23](#)
    - リダイレクト URL の属性と値のペア [10-23](#)
  - Cisco Secure ACS 設定ガイド [10-74](#)
  - CiscoWorks 2000 [1-6, 32-4](#)
  - Cisco インテリジェント電力管理 [12-8](#)
  - CISP [10-34](#)
  - CIST リージョナル ルート
    - 「MSTP」を参照
  - CIST ルート
    - 「MSTP」を参照
  - CLI
    - エラー メッセージ [2-5](#)
    - クラスタを管理する [6-17](#)
    - コマンド出力のフィルタリング [2-9](#)
    - コマンドの no 形式と default 形式 [2-4](#)
    - コマンドの短縮形 [2-4](#)
    - コマンド モード [2-1](#)
    - コンフィギュレーション ロギング [2-5](#)
    - 説明 [1-6](#)
    - ヘルプを使用する [2-3](#)
    - 編集機能
      - イネーブルとディセーブル [2-7](#)
      - キーストローク編集 [2-7](#)
      - ラップされた行 [2-9](#)
    - 履歴
      - コマンドを呼び出す [2-6](#)
      - 説明 [2-5](#)
      - ディセーブルにする [2-6](#)
      - バッファ サイズを変更する [2-6](#)
  - Client Information Signalling Protocol
    - 「CISP」を参照
  - CLNS
    - 「ISO CLNS」を参照
  - CNS [1-6](#)
  - Configuration Engine
    - イベント サービス [4-3](#)
    - コンフィギュレーション サービス [4-2](#)
    - 設定 ID、デバイス ID、ホスト名 [4-3](#)
    - 説明 [4-1](#)
    - 管理機能 [1-6](#)
    - 組み込みエージェント
      - イベント エージェントをイネーブルにする [4-8](#)
      - 自動設定をイネーブルにする [4-7](#)
      - 設定エージェントをイネーブルにする [4-9](#)
      - 説明 [4-5](#)
  - CoA 要求コマンド [9-25](#)
  - config.text [3-20](#)
  - configure terminal コマンド [12-13](#)
  - CoS
    - オーバーライド プライオリティ [15-7](#)
    - 信頼のプライオリティ [15-7](#)
    - レイヤ 2 フレームでの [35-2](#)
  - CoS/DSCP マップ、QoS での [35-69](#)
  - CoS 出力キューしきい値マップ、QoS の [35-19](#)
  - CPU 使用率、トラブルシューティング [49-28](#)
  - crashinfo ファイル [49-26](#)
  - Customer Edge デバイス [38-81](#)
  - CWDM SFP [1-33](#)
- 
- ## D
- DACL
    - 「ダウンロード可能 ACL」を参照
  - dCEF、スイッチ スタック内 [38-96](#)
  - Default Router Preference
    - 「DRP」を参照
  - default コマンド [2-4](#)
  - description コマンド [12-27](#)
  - DHCP
    - Cisco IOS サーバ データベース
      - 設定する [22-15](#)
      - 説明 [22-6](#)
      - デフォルト設定 [22-9](#)

## IPv6 用 DHCP

「DHCPv6」を参照

イネーブルにする

リレー エージェント [22-11](#)

## DHCP Option 82

回線 ID サブオプション [22-5](#)

概要 [22-3](#)

パケット形式、サブオプション

回線 ID [22-5](#)

リモート ID [22-5](#)

リモート ID サブオプション [22-5](#)

## DHCPv6

DHCPv6 サーバ機能をイネーブルにする [39-19](#)

クライアント機能をイネーブルにする [39-21](#)

サポート [1-16](#)

設定ガイドライン [39-18](#)

説明 [39-6](#)

デフォルト設定 [39-18](#)

DHCP オブジェクト トラッキング、プライマリ インターフェイスの設定 [44-11](#)

## DHCP オプション 82

設定時の注意事項 [22-9](#)

デフォルト設定 [22-8](#)

転送アドレス、指定する [22-11](#)

表示する [22-16](#)

ヘルパー アドレス [22-11](#)

DHCP サーバ ポートベースのアドレス割り当て

イネーブルにする [22-29](#)

サポート [1-7](#)

設定時の注意事項 [22-29](#)

説明 [22-28](#)

デフォルト設定 [22-29](#)

表示する [22-31](#)

予約アドレス [22-30](#)

## DHCP スヌーピング

Option 82 データ挿入 [22-3](#)

信頼済みインターフェイス [22-2](#)

設定時の注意事項 [22-9](#)

デフォルト設定 [22-8](#)

バインディング データベース

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

バインディング テーブルの表示 [22-16](#)

非信頼インターフェイス [22-2](#)

非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信する [22-3, 22-13](#)

非信頼メッセージ [22-2](#)

プライベート VLAN の [22-14](#)

メッセージ交換プロセス [22-4](#)

DHCP スヌーピング バインディング データベース

イネーブルにする [22-15](#)

エージェント統計情報をクリアする [22-16](#)

エントリ [22-7](#)

削除する

データベース エージェント [22-16](#)

バインディング [22-16](#)

バインディング ファイル [22-16](#)

設定時の注意事項 [22-10](#)

設定する [22-15](#)

説明 [22-7](#)

データベースを更新する [22-16](#)

デフォルト設定 [22-8, 22-9](#)

バインディング [22-7](#)

バインディング ファイル

形式 [22-7](#)

場所 [22-7](#)

バインディングを追加する [22-15](#)

表示

ステータスと統計情報 [22-16](#)

バインディング エントリ [22-16](#)

表示する [22-16](#)

リセットする

タイムアウト値 [22-16](#)

遅延値 [22-16](#)

DHCP スヌーピング バインディング テーブル

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

DHCP バインディング データベース

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

## DHCP バインディング テーブル

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

## DHCP ベースの自動設定

BOOTP との関係 **3-4**

概要 **3-3**

クライアント要求メッセージの交換 **3-4**

サポート **1-6**

設定する

DNS **3-8**

TFTP サーバ **3-7**

クライアント側 **3-4**

サーバ側 **3-7**

リレー デバイス **3-8**

リース オプション

IP アドレス情報 **3-7**

設定ファイルを受信する **3-7**

リレー サポート **1-7, 1-16**

例 **3-10**

## DHCP ベースの自動設定とイメージアップデート

概要 **3-5 ~ 3-6**

設定する **3-12 ~ 3-16**

## distribute-list コマンド **38-109**

## DNS

DHCP ベースの自動設定と **3-8**

IPv6 での **39-4**

概要 **7-8**

サポート **1-6**

設定する **7-9**

設定を表示する **7-10**

デフォルト設定 **7-9**

## DNS ベースの SSM マッピング **46-20, 46-22**

## dot1q-tunnel switchport モード **13-18**

## DRP

IPv6 **39-5**

サポート **1-16**

設定 **39-16**

説明 **39-5**

DSCP **1-14, 35-2**

DSCP/CoS マップ、QoS での **35-72**

DSCP/DSCP 変換マップ、QoS での **35-73**

DSCP 出力キューしきい値マップ、QoS の **35-19**

DSCP の透過性 **35-47**

DTP **1-10, 13-17**

DUAL 有限状態マシン、EIGRP **38-40**

## DVMRP

DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 **46-54**

mrinfo 要求、応答 **46-57**

概要 **46-9**

サポート **1-16**

自動サマライズ

サマリー アドレスの設定 **46-62**

ディセーブル化 **46-64**

相互運用性

Cisco IOS ソフトウェアとの **46-9**

シスコ デバイスとの **46-52**

送信元配信ツリー、構築 **46-9**

トンネル

設定 **46-54**

ネイバー情報の表示 **46-57**

ネイバー

情報の表示 **46-57**

デフォルト ルートのアドバタイズ **46-57**

非プルーニングとのピアリングの禁止 **46-60**

非プルーニングの拒否 **46-59**

プローブ メッセージによる検出 **46-52**

ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 **46-58**

ルーティング テーブル **46-9**

ルート

MBONE に入る個数の制限 **46-61**

Syslog メッセージのしきい値の変更 **46-61**

削除 **46-66**

すべてのアドバタイズ **46-64**

ネイバーへのデフォルト ルートのアドバタイズ **46-57**

表示 **46-66**

メトリック オフセットの追加 **46-64**

優先度 **46-64**

ユニキャスト ルート アドバタイズ の制限 **46-52**

レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 **46-58**

dynamic auto trunking モード **13-18**

dynamic desirable trunking モード **13-18**

Dynamic Host Configuration Protocol

「DHCP ベースの自動設定」を参照

Dynamic Trunking Protocol (ダイナミック トランキング プロトコル)

「DTP」を参照

## E

EBGP **38-48**

「EBGP」を参照

EEM 3.2 **33-5**

EIGRP

インターフェイス パラメータ、設定 **38-44**

コンポーネント **38-39**

スタブルーティング **38-46**

設定 **38-43**

定義 **38-39**

デフォルト設定 **38-40**

認証 **38-45**

モニタリング **38-47**

ELIN ロケーション **27-3**

errdisable ステート、BPDU **20-2**

EtherChannel

IEEE 802.3ad、説明 **36-7**

LACP

システム プライオリティ **36-22**

ステータスを表示する **36-25**

説明 **36-7**

ポート プライオリティ **36-23**

他の機能との相互動作 **36-8**

ホットスタンバイ ポート **36-22**

モード **36-8**

PAgP

Catalyst 1900 との互換性 **36-21**

学習方式とプライオリティの設定 **36-20**

仮想スイッチとの相互動作 **36-6**

サポート **1-5**

集約ポート ラーナー **36-20**

ステータスを表示する **36-25**

説明 **36-5**

デュアルアクションの検出での **36-6**

他の機能との相互動作 **36-7**

モード **36-6**

サポート **1-5**

自動作成 **36-5, 36-7**

スタックの変更、影響 **36-10**

ステータスを表示する **36-25**

設定時の注意事項 **36-12**

設定する

レイヤ 2 インターフェイス **36-13**

レイヤ 3 物理インターフェイス **36-17**

レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス **36-16**

説明 **36-2**

相互動作

STP での **36-12**

VLAN での **36-13**

チャンネル グループ

番号付け **36-4**

物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインディング **36-4**

デフォルト設定 **36-11**

転送方式 **36-9, 36-19**

ポート グループ **12-6**

ポートチャンネル インターフェイス

説明 **36-4**

番号付け **36-4**

レイヤ 3 インターフェイス **38-5**

ロード バランシング **36-9, 36-19**

論理インターフェイス、説明 **36-4**

EtherChannel ガード

イネーブルにする [20-18](#)

説明 [20-10](#)

ディセーブルにする [20-18](#)

EUI [39-4](#)

Express Setup [1-2](#)

「スタートアップガイド」も参照

Extensible Authentication Protocol over LAN [10-1](#)

## F

fa0 インターフェイス [1-8](#)

Fast Uplink Transition Protocol [20-7](#)

FIB [38-96](#)

Flex Link

VLAN [21-2](#)

VLAN ロード バランシングを設定する [21-11](#)

設定 [21-9](#)

設定時の注意事項 [21-8](#)

説明 [21-1](#)

デフォルト設定 [21-8](#)

モニタリング [21-14](#)

優先 VLAN の設定 [21-12](#)

リンク ロード バランシング [21-2](#)

Flex Link マルチキャスト高速コンバージェンス [21-3](#)

FTP

イメージ ファイル

アップロードする [A-35](#)

サーバを準備する [A-31](#)

ダウンロードする [A-32](#)

古いイメージを削除する [A-34](#)

設定ファイル

アップロードする [A-16](#)

概要 [A-13](#)

サーバを準備する [A-14](#)

ダウンロードする [A-14](#)

## G

get-bulk-request オペレーション [32-3](#)

get-next-request オペレーション [32-3, 32-5](#)

get-request オペレーション [32-3, 32-4, 32-5](#)

get-response オペレーション [32-3](#)

GUI

「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照

## H

hello タイム

MSTP [19-24](#)

STP [18-23](#)

HFTM スペース [49-27](#)

Hot Standby Router Protocol (ホットスタンバイ ルータ プロトコル)

「HSRP」を参照

HP OpenView [1-6](#)

HQATM スペース [49-27](#)

HSRP

ICMP リダイレクト メッセージのサポート [42-12](#)

オブジェクト トラッキング [44-7](#)

概要 [42-1](#)

クラスタ グループにバインド [42-12](#)

クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 [6-12](#)

コマンド スイッチの冗長性 [1-1, 1-8](#)

自動クラスタ回復 [6-13](#)

スイッチ スタックの考慮事項 [42-5](#)

設定 [42-5](#)

タイマー [42-11](#)

注意事項 [42-6](#)

定義 [42-1](#)

デフォルト設定 [42-5](#)

トラッキング [42-8](#)

認証ストリング [42-11](#)

プライオリティ [42-8](#)

モニタリング [42-13](#)

ルーティングの冗長性 [1-15](#)

「クラスタ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

HTTP over SSL



- 「HTTPS」を参照
  - HTTPS [9-51](#)
    - 自己署名証明書 [9-52](#)
    - 設定する [9-55](#)
  - HTTP セキュア サーバ [9-51](#)
  - Hulc Forwarding TCAM Manager
    - 「HFTM スペース」を参照
  - Hulc QoS/ACL TCAM Manager
    - 「HQATM」スペースを参照
- 
- IBGP
    - 「IBGP」を参照
  - IBPG [38-48](#)
  - ICMP
    - IPv6 [39-4](#)
    - traceroute と [49-18](#)
    - サポート [1-16](#)
    - 時間超過メッセージ [49-18](#)
    - 到達不能と ACL [34-24](#)
    - 到達不能メッセージ [34-23](#)
    - 到達不能メッセージおよび IPv6 [40-4](#)
    - リダイレクトメッセージ [38-13](#)
  - ICMP ping
    - 概要 [49-15](#)
    - 実行する [49-15](#)
  - ICMP Router Discovery Protocol
    - 「IRDP」を参照
  - ICMPv6 [39-4](#)
  - ICMP エコー動作
    - IP SLA [43-12](#)
    - 設定する [43-12](#)
  - IDS 装置
    - 入力 RSPAN と [29-23](#)
    - 入力 SPAN と [29-15](#)
  - IEEE 802.1D
    - 「STP」を参照
  - IEEE 802.1p [15-1](#)
  - IEEE 802.1Q
    - カプセル化 [13-16](#)
    - 設定の制限 [13-19](#)
    - その他の機能を含むトンネル ポート [17-6](#)
    - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN [13-24](#)
    - トランク ポートと [12-3](#)
    - トンネリング
      - 説明 [17-1](#)
      - デフォルト [17-4](#)
      - 他の機能との互換性 [17-6](#)
  - IEEE 802.1s
    - 「MSTP」を参照
  - IEEE 802.1w
    - 「RSTP」を参照
  - IEEE 802.1x
    - 「ポートベース認証」を参照
  - IEEE 802.3ad
    - 「EtherChannel」を参照
  - IEEE 802.3af
    - 「PoE」を参照
  - IEEE 802.3x フロー制御 [12-22](#)
  - ifIndex 値、SNMP [32-6](#)
  - IFS [1-7](#)
  - IGMP
    - join メッセージ [24-3](#)
    - 概要 [46-3](#)
    - キャッシュ エントリの削除 [46-66](#)
    - クエリー [24-4](#)
    - グループの表示 [46-66](#)
    - グループへのアクセスの制御 [46-43](#)
    - 高速スイッチング [46-47](#)
    - サポート [1-5](#)
    - サポートされるバージョン [24-3](#)
    - スイッチの設定
      - グループのメンバーとして [46-42](#)
      - 静的に接続されたメンバー [46-46](#)
    - 設定可能な脱退タイマー
      - イネーブルにする [24-12](#)
      - 説明 [24-6](#)

- 脱退処理、イネーブルにする [24-11, 41-9](#)
- デフォルト設定 [46-42](#)
- バージョン 1
  - 説明 [46-3](#)
  - バージョン 2 への変更 [46-44](#)
- バージョン 2
  - クエリー タイムアウト値 [46-45](#)
  - グループのプルーニング [46-46](#)
  - 最大クエリー応答時間値 [46-46](#)
  - 説明 [46-4](#)
  - バージョン 1 への変更 [46-44](#)
- フラッドイングしたマルチキャスト トラフィック
  - インターフェイス上でディセーブルにする [24-14](#)
  - クエリー送信要求 [24-13](#)
  - グローバルな脱退 [24-13](#)
  - 時間の長さを制御する [24-13](#)
  - フラッドイング モードから回復する [24-13](#)
- ホストクエリー インターバル、変更 [46-44](#)
- マルチキャスト グループから脱退する [24-5](#)
- マルチキャスト グループに加入する [24-3](#)
- マルチキャストの到達可能性 [46-42](#)
- レポート抑制
  - 説明 [24-6](#)
  - ディセーブルにする [24-17, 41-11](#)
- IGMP グループ
  - 最大番号を設定する [24-29](#)
  - フィルタリングを設定する [24-30](#)
- IGMP スヌーピング
  - VLAN の設定 [24-8](#)
  - アドレス エイリアス設定 [24-2](#)
  - イネーブルとディセーブル [24-8, 41-7](#)
  - クエリア
    - 設定時の注意事項 [24-15](#)
    - 設定する [24-15](#)
  - グローバル設定 [24-8](#)
  - サポート [1-5](#)
  - サポートされるバージョン [24-3](#)
  - スイッチ スタックでの [24-7](#)
  - スタックの変更と [24-7](#)
  - 設定 [24-7](#)
  - 即時脱退 [24-5](#)
  - 定義 [24-2](#)
  - デフォルト設定 [24-7, 41-6](#)
  - 方式 [24-9](#)
  - モニタリング [24-17, 41-12](#)
- IGMP スロットリング
  - アクションを表示する [24-31](#)
  - 設定する [24-30](#)
  - 説明 [24-26](#)
  - デフォルト設定 [24-27](#)
- IGMP 即時脱退
  - イネーブルにする [24-11](#)
  - 設定時の注意事項 [24-12](#)
  - 説明 [24-5](#)
- IGMP フィルタリング
  - サポート [1-5](#)
  - 設定する [24-27](#)
  - 説明 [24-26](#)
  - デフォルト設定 [24-27](#)
  - モニタリング [24-31](#)
- IGMP プロファイル
  - コンフィギュレーション モード [24-27](#)
  - 設定する [24-28](#)
  - 適用する [24-28](#)
- IGMP ヘルパー [1-5, 46-6](#)
- IGP [38-27](#)
- interfaces range macro コマンド [12-15](#)
- Interior Gateway Protocol
  - 「IGP」を参照
- Internet Group Management Protocol (インターネット グループ管理プロトコル)
  - 「IGMP」を参照
- IP ACL
  - QoS 分類の [35-8](#)
  - 暗黙の拒否 [34-11, 34-17](#)
  - 暗黙のマスク [34-11](#)
  - 名前付き [34-17](#)

- 未定義 [34-24](#)
- IP Base イメージ [1-1](#)
- ip cef distributed コマンド [38-96](#)
- ip igmp profile コマンド [24-27](#)
- IP precedence [35-2](#)
- IP precedence/DSCP マップ、QoS での [35-70](#)
- IP SLA
  - ICMP エコー動作 [43-12](#)
  - SNMP サポート [43-2](#)
  - UDP ジッタ動作 [43-9](#)
  - 応答側
    - イネーブルにする [43-8](#)
    - 説明 [43-4](#)
  - 応答時間 [43-4](#)
  - オブジェクト トラッキング [44-9](#)
  - オブジェクト トラッキングの設定 [44-9](#)
  - オブジェクト モニタリング エージェントの追跡、設定 [44-11](#)
  - サポートされるメトリック [43-2](#)
  - しきい値のモニタリング [43-6](#)
  - スケジューリング [43-5](#)
  - 制御プロトコル [43-4](#)
  - 設定時の注意事項 [43-6](#)
  - 定義 [43-1](#)
  - デフォルト設定 [43-6](#)
  - 動作 [43-3](#)
  - 到達可能性トラッキング [44-9](#)
  - トラック ステート [44-9](#)
  - ネットワーク パフォーマンスを測定する [43-3](#)
  - マルチオペレーションのスケジューリング [43-5](#)
  - モニタリング [43-14](#)
  - 利点 [43-2](#)
- IP traceroute
  - 概要 [49-18](#)
  - 実行する [49-19](#)
- IPv4 ACL
  - インターフェイスに対して適用する [34-22](#)
  - 拡張、作成する [34-12](#)
  - 名前付き [34-17](#)
  - 標準、作成する [34-11](#)
- IPv4 と IPv6
  - デュアル プロトコル スタック [39-6](#)
- IPv6
  - ACL
    - precedence [40-2](#)
    - 一致条件 [40-3](#)
    - サポート対象 [40-3](#)
    - 制限 [40-3](#)
    - 表示 [40-9](#)
    - ポート [40-2](#)
    - ルータ [40-2](#)
  - CEFv6 [39-22](#)
  - Default Router Preference (DRP) [39-5](#)
  - Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) IPv6 [39-8](#)
    - EIGRP IPv6 コマンド [39-9](#)
    - ルータ ID [39-9](#)
  - ICMP [39-4](#)
  - OSPF [39-7](#)
  - SDM テンプレート [8-2, 40-1, 41-1](#)
    - アドレス [39-2](#)
    - アドレス フォーマット [39-2](#)
    - アドレスを割り当てる [39-13](#)
    - アプリケーション [39-5](#)
    - 機能の制限 [39-11](#)
    - サポート機能 [39-3](#)
    - 自動設定 [39-5](#)
    - スイッチ スタックと [39-11](#)
    - スイッチの制限 [39-10](#)
    - スタック マスター機能 [39-12](#)
    - スタティック ルートの概要 [39-7](#)
    - スタティック ルートを設定する [39-23](#)
    - ステートレス自動設定 [39-5](#)
    - 定義済み [39-1](#)
    - デフォルト設定 [39-13](#)
    - 転送する [39-13](#)
    - ネイバー探索 [39-4](#)
    - パス MTU 探索 [39-4](#)

- 非サポート機能 [39-10](#)
- モニタリング [39-31](#)
- IPv6 の HSRP
  - 設定 [39-29](#)
  - 注意事項 [39-28](#)
- IP アドレス
  - 128 ビット [39-2](#)
  - IPv6 [39-2](#)
  - IP ルーティング [38-6](#)
  - MAC アドレス アソシエーション [38-10](#)
  - クラス [38-7](#)
  - クラスタ アクセス [6-2](#)
  - 検出する [7-25](#)
  - 候補またはメンバ [6-4, 6-14](#)
  - コマンド スイッチ [6-3, 6-12, 6-14](#)
  - 冗長クラスタ [6-12](#)
  - スタンバイ コマンド スイッチ [6-12, 6-14](#)
  - デフォルト設定 [38-6](#)
  - モニタリング [38-19](#)
  - 「IP 情報」も参照
- IP サービス イメージ [1-1](#)
- IP サービス レベル契約
  - 「IP SLA」を参照
- IP サービス レベル、分析する [43-1](#)
- IP 情報
  - デフォルト設定 [3-3](#)
  - 割り当て
    - DHCP ベースの自動設定を介して [3-3](#)
    - 手動で [3-16](#)
- IP 送信元ガード
  - イネーブル化 [22-21, 22-22](#)
  - ディセーブル化 [22-21](#)
- IP ソース ガード
  - 802.1x と [22-20](#)
  - DHCP スヌーピングと [22-17](#)
  - TCAM エントリと [22-20](#)
  - VRF と [22-20](#)
  - スタティック バインディング
    - 削除する [22-21](#)
    - 追加する [22-21, 22-22](#)
  - スタティック ホスト [22-22](#)
  - 設定時の注意事項 [22-20](#)
  - 説明 [22-17](#)
  - 送信元 IP アドレスと MAC アドレスのフィルタリング [22-17](#)
  - 送信元 IP アドレスのフィルタリング [22-17](#)
  - デフォルト設定 [22-19](#)
  - トランク インターフェイスと [22-20](#)
  - バインディング設定
    - 自動的な [22-17](#)
    - 手動での [22-17](#)
  - バインディング テーブル [22-17](#)
  - 表示する
    - アクティブ IP バインディングまたは MAC バインディング [22-28](#)
    - 設定 [22-28](#)
    - バインディング [22-28](#)
  - フィルタリング
    - 送信元 IP アドレス [22-17](#)
    - 送信元 IP アドレスと MAC アドレス [22-17](#)
    - プライベート VLAN の [22-20](#)
    - プロビジョニングされるスイッチ上での [22-20](#)
    - ポート セキュリティと [22-20](#)
    - ルーテッド ポートと [22-20](#)
- IP ダイレクト ブロードキャスト [38-16](#)
- IP 電話
  - QoS でポート セキュリティを確立する [35-45](#)
  - QoS と [15-1](#)
  - QoS の信頼境界 [35-45](#)
  - 自動分類とキューイング [35-21](#)
  - 設定する [15-4](#)
- IP ブロードキャスト アドレス [38-18](#)
- IP プロトコル
  - ACL での [34-14](#)
  - ルーティング [1-15](#)
- IP ポート セキュリティ、スタティック ホスト用
  - PVLAN ホスト ポートでの [22-26](#)
  - レイヤ 2 アクセス ポート [22-22](#)

## IP マルチキャスト ルーティング

IGMP スヌーピングと 24-2

## MBONE

sdr キャッシュ エントリの削除 46-66

sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 46-49

sdr キャッシュの表示 46-67

sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 46-49

Session Directory (sdr) ツール、説明 46-49

アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 46-61

会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 46-49

説明 46-48

PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 46-12

## RP

PIMv2 BSR の設定 46-32

自動 RP および BSR の使用 46-36

自動 RP の設定 46-28

手動での割り当て 46-27

マッピング情報のモニタリング 46-37

## アドレス

すべてのマルチキャスト ルータ 46-3

全ホスト 46-3

ホスト グループ アドレス範囲 46-3

## イネーブル化

PIM モード 46-14

マルチキャスト転送 46-13

管理用スコープの境界、説明 46-50

逆経路チェック (RPF) 46-8

## グループ /RP マッピング

BSR 46-7

自動 RP 46-7

シスコの実装 46-2

## 自動 RP

BSR による使用 46-36

概要 46-7

既存の SM クラウドへの追加 46-29

キャッシュのクリア 46-66

候補 RP スプーフィングの禁止 46-31

新規インターネットワークでの設定 46-29

設定時の注意事項 46-12

着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 46-31

問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 46-30

利点 46-28

## スタッキング

スタック マスターの機能 46-10

スタック メンバの機能 46-10

## 設定

IP マルチキャスト境界 46-50

基本的なマルチキャスト ルーティング 46-13

デフォルト設定 46-11

統計情報、システムおよびネットワークの表示 46-66

## ブートストラップ ルータ

IP マルチキャスト境界の定義 46-34

PIM ドメイン境界の定義 46-33

概要 46-7

候補 BSR の設定 46-34

候補 RP の設定 46-35

自動 RP による使用 46-36

設定時の注意事項 46-12

プロトコルの動作 46-2

マルチキャスト転送、説明 46-8

## モニタリング

パケット速度および損失情報 46-67

パスのトレース 46-67

ピアリング デバイス 46-67

## ルーティング テーブル

削除 46-66

表示 46-66

「CGMP」も参照

「DVMRP」も参照

「IGMP」も参照

「PIM」も参照

## IP ユニキャスト ルーティング

ARP 38-10

- EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス **38-5**
- IGP **38-27**
- IPv6 **39-3**
- IP アドレス指定
  - クラス **38-7**
  - 設定 **38-6**
- IRDP **38-14**
- MAC アドレスおよび IP アドレス **38-10**
- SVI を使用 **38-5**
- UDP **38-17**
- VLAN 間 **38-2**
- アドミニストレーティブ ディスタンス **38-99, 38-111**
- アドレス解決 **38-10**
- イネーブル化 **38-20**
- 逆アドレス解決 **38-10**
- クラスレス ルーティング **38-8**
- 再配信 **38-101**
- サブネットゼロ **38-8**
- サブネット マスク **38-7**
- 受動インターフェイス **38-109**
- スーパーネット **38-8**
- スタティック ルーティング **38-3**
- スタティック ルートの設定 **38-99**
- 設定する手順 **38-5**
- ダイナミック ルーティング **38-3**
- ダイレクトブロードキャスト **38-16**
- ディセーブル化 **38-21**
- デフォルト
  - アドレス指定の設定 **38-6**
  - ゲートウェイ **38-13**
  - ネットワーク **38-100**
  - ルーティング **38-3**
  - ルート **38-100**
- 認証キー **38-111**
- ブロードキャスト
  - アドレス **38-18**
  - ストーム **38-15**
  - パケット **38-15**
  - フラッディング **38-18**
- プロキシ ARP **38-10**
- プロトコル
  - ダイナミック **38-3**
  - ディスタンスベクトル **38-3**
  - リンクステート **38-3**
- ルーテッド ポート **38-5**
- レイヤ 3 インターフェイス **38-5**
- レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て **38-7**
- 「BGP」も参照
- 「EIGRP」も参照
- 「OSPF」も参照
- 「RIP」も参照
- IP ルーティング
  - イネーブル化 **38-20**
  - インターフェイスを接続する **12-11**
  - ディセーブル化 **38-21**
- IP ルート、モニタリング **38-113**
- IRDP
  - サポート **1-16**
  - 設定 **38-14**
  - 定義 **38-14**
- IS-IS
  - show コマンド **38-80**
  - アドレス **38-70**
  - エリア ルーティング **38-70**
  - システム ルーティング **38-70**
  - デフォルト設定 **38-71**
  - モニタリング **38-80**
- ISL
  - IEEE 802.1 トンネリングによるトランキング **17-4**
  - IPv6 と **39-3**
  - カプセル化 **1-10, 13-16**
  - トランク ポートと **12-3**
- ISO CLNS
  - clear コマンド **38-80**
  - NET **38-70**
  - NSAP **38-70**

OSI 標準 38-70

ダイナミック ルーティング プロトコル 38-70

モニタリング 38-80

## ISO IGRP

エリア ルーティング 38-70

システム ルーティング 38-70

## J

join メッセージ、IGMP 24-3

## K

### KDC

説明 9-42

「Kerberos」も参照

### Kerberos

KDC 9-42

TGT 9-44

暗号化ソフトウェア イメージ 9-41

クレデンシヤル 9-42

サーバ 9-43

サポート 1-13

信頼済みサードパーティとしてのスイッチ 9-42

設定する 9-45

設定例 9-42

説明 9-42

操作 9-44

チケット 9-42

認証する

KDC 9-44

境界スイッチ 9-44

ネットワーク サービス 9-45

用語 9-43

レルム 9-43

## L

l2protocol-tunnel コマンド 17-13

### LACP

「EtherChannel」を参照

レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-9

### LDAP 4-2

### LED、スイッチ

「ハードウェア インストール ガイド」を参照

### Lightweight Directory Access Protocol

「LDAP」を参照

### Link Aggregation Control Protocol

「EtherChannel」を参照

### Link Layer Discovery Protocol

「CDP」を参照

Link State Advertisement (LSA) 38-34

### LLDP

イネーブルにする 27-6

概要 27-1

サポートされる TLV 27-2

スイッチ スタックの考慮事項 27-2

設定

デフォルト設定 27-5

設定する 27-5

特性 27-6

送信タイマーとホールドタイム、設定する 27-6

モニタリングとメンテナンス 27-11

### LLDP-MED

概要 27-1, 27-2

サポートされる TLV 27-2

設定する

TLV 27-7

手順 27-5

モニタリングとメンテナンス 27-11

### LLDP Media Endpoint Discovery

「LLDP-MED」を参照

Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-24, 1-31

LRE プロファイル、スイッチ クラスタでの考慮事項 6-17

## M

## MAB

「MAC 認証バイパス」を参照

MAB エージング タイム [1-10](#)

MAB 非アクティビティ タイマー

デフォルト設定 [10-39](#)

範囲 [10-41](#)

MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス  
TLV [27-2](#)

## MAC アドレス

ACL での [34-30](#)

IP アドレス アソシエーション [38-10](#)

IP ソース バインディング テーブルで表示する [22-28](#)

VLAN でのラーニングをディセーブルにする [7-23](#)

VLAN との対応付け [7-13](#)

アドレス テーブルを構築する [7-13](#)

エージング タイム [7-14](#)

検出する [7-25](#)

スタティック

許可する [7-22, 7-24](#)

削除する [7-21](#)

追加する [7-21](#)

特性 [7-20](#)

ドロップする [7-22](#)

ダイナミック

削除する [7-15](#)

ラーニング [7-13](#)

デフォルト設定 [7-14](#)

表示する [7-24](#)

MAC アドレス /VLAN マッピング [13-29](#)

MAC アドレス通知、サポート [1-17](#)

MAC アドレス テーブル移動更新

設定時の注意事項 [21-8](#)

設定する [21-12](#)

説明 [21-6](#)

デフォルト設定 [21-8](#)

モニタリング [21-14](#)

MAC アドレス ラーニング [1-7](#)

MAC アドレス ラーニング、VLAN でディセーブルにする [7-23](#)

MAC 拡張アクセス リスト

QoS 分類の [35-5](#)

QoS を設定する [35-52](#)

作成する [34-30](#)

定義済み [34-30](#)

レイヤ 2 インターフェイスに対して適用する [34-32](#)

MAC 認証バイパス [10-41](#)

「MAB」を参照

概要 [10-18](#)

設定する [10-69](#)

maximum-paths コマンド [38-57, 38-97](#)

## MDA

設定時の注意事項 [10-14 ~ 10-15](#)

説明 [1-11, 10-14](#)

認証プロセスでの例外 [10-6](#)

MHSRP [42-4](#)

## MIB

SNMP の相互作用 [32-4](#)

概要 [32-1](#)

mrouter ポート [21-3, 21-5](#)

## MSDP

MSDP 接続および統計情報のクリア [47-18](#)

## SA メッセージ

キャッシュ エントリのクリア [47-18](#)

モニタリング [47-18](#)

## Source-Active メッセージ

TTL によるデータの制限 [47-13](#)

アドバタイズされる送信元の制限 [47-9](#)

キャッシング [47-6](#)

着信のフィルタリング [47-14](#)

定義 [47-2](#)

ピアからのフィルタリング [47-10](#)

ピアへのフィルタリング [47-12](#)

概要 [47-1](#)

加入遅延、定義 [47-6](#)

サポート [1-16](#)



- 送信元情報の制御
  - スイッチから発信 [47-8](#)
  - スイッチで受信 [47-13](#)
  - スイッチによる転送 [47-11](#)
- デフォルト設定 [47-4](#)
- デンス モード領域
  - SA メッセージの送信 [47-16](#)
  - 発信元アドレスの指定 [47-17](#)
- 発信元アドレス、変更 [47-17](#)
- ピア
  - シャットダウン [47-15](#)
  - 送信元情報の要求 [47-8](#)
  - デフォルトの設定 [47-4](#)
  - ピアリング関係、概要 [47-1](#)
  - モニタリング [47-18](#)
- ピア RPF フラッドイング [47-2](#)
- フィルタリング
  - 着信 SA メッセージ [47-14](#)
  - ピアからの SA 要求 [47-10](#)
  - ピアへの SA メッセージ [47-12](#)
- メッシュ グループ
  - 設定 [47-15](#)
  - 定義 [47-15](#)
- 利点 [47-3](#)
- MSTP
  - BPDU ガード
    - イネーブルにする [20-14](#)
    - 説明 [20-2](#)
  - BPDU フィルタリング
    - イネーブルにする [20-15](#)
    - 説明 [20-3](#)
  - CIST、説明 [19-3](#)
  - CIST リージョナル ルート [19-3, 19-5](#)
  - CIST ルート [19-5](#)
  - CST
    - 定義 [19-3](#)
    - リージョン間の動作 [19-4](#)
  - EtherChannel ガード
    - イネーブルにする [20-18](#)
  - 説明 [20-10](#)
  - IEEE 802.1D との相互運用性
    - 移行プロセスの再起動 [19-27](#)
    - 説明 [19-9](#)
  - IEEE 802.1s
    - 実装 [19-6](#)
    - ポートの役割名の変更 [19-7](#)
    - 用語 [19-5](#)
  - IST
    - 定義 [19-2](#)
    - マスター [19-3](#)
    - リージョン内の動作 [19-3](#)
  - MST リージョン
    - CIST [19-3](#)
    - IST [19-2](#)
    - サポートされるスパニングツリー インスタンス [19-2](#)
    - 設定 [19-16](#)
    - 説明 [19-2](#)
    - ホップ カウント メカニズム [19-5](#)
  - Port Fast
    - イネーブルにする [20-13](#)
    - 説明 [20-2](#)
  - Port Fast 対応ポートのシャットダウン [20-2](#)
  - VLAN と MST インスタンスのマッピング [19-17](#)
  - インターフェイスの状態、転送のブロッキング [20-2](#)
  - 概要 [19-2](#)
  - 拡張システム ID
    - 異常動作 [19-18](#)
    - セカンダリ ルート スイッチへの影響 [19-19](#)
    - ルート スイッチへの影響 [19-18](#)
  - 境界ポート
    - 設定時の注意事項 [19-16](#)
    - 説明 [19-6](#)
  - サポートされるインスタンス [18-11](#)
  - サポートされるオプション機能 [1-9](#)
  - スタックの変更、影響 [19-8](#)
  - ステータスの表示 [19-27](#)

ステータス、表示 [19-27](#)

設定

MST リージョン [19-16](#)

高速コンバージェンス用リンク タイプ [19-26](#)

最大エージング タイム [19-25](#)

最大ホップ カウント [19-25](#)

スイッチ プライオリティ [19-23](#)

セカンダリ ルート スイッチ [19-19](#)

転送遅延時間 [19-24](#)

ネイバー タイプ [19-26](#)

パス コスト [19-21](#)

ポート プライオリティ [19-20](#)

ルート スイッチ [19-18](#)

設定時の注意事項 [19-15](#), [20-12](#)

設定する

hello タイム [19-24](#)

デフォルト設定 [19-15](#)

デフォルトのオプション機能設定 [20-12](#)

モード間での相互運用性と互換性 [18-11](#)

モードのイネーブル化 [19-16](#)

ルート ガード

イネーブルにする [20-18](#)

説明 [20-10](#)

ルート スイッチ

異常動作 [19-18](#)

拡張システム ID の影響 [19-18](#)

設定 [19-18](#)

ルート スイッチ選択を防止する [20-10](#)

ループ ガード

イネーブルにする [20-19](#)

説明 [20-11](#)

multiauth

アクセス不能認証バイパスのサポート [10-26](#)

multiauth モード

「複数認証モード」を参照

Multicast Source Discovery Protocol

「MSDP」を参照

multicast storm-control コマンド [25-4](#)

Multiple HSRP

「MHSRP」を参照

Multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイスでの

「Multi-VRF CE」を参照

Multi-VRF CE

サポート [1-16](#)

設定 [38-83](#)

設定時の注意事項 [38-83](#)

設定例 [38-91](#)

定義 [38-81](#)

デフォルト設定 [38-83](#)

ネットワーク コンポーネント [38-83](#)

パケット転送処理 [38-83](#)

表示 [38-95](#)

モニタリング [38-95](#)

MVR

IGMPv3 と [24-22](#)

アドレスのエイリアス [24-22](#)

アプリケーション例 [24-20](#)

インターフェイスの設定 [24-24](#)

グローバル パラメータを設定する [24-22](#)

サポート [1-5](#)

スイッチ スタックでの [24-21](#)

設定時の注意事項 [24-22](#)

説明 [24-19](#)

デフォルト設定 [24-21](#)

マルチキャスト TV アプリケーション [24-20](#)

モード [24-23](#)

モニタリング [24-25](#)

## N

NAC

AAA ダウン ポリシー [1-13](#)

RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 [10-71](#)

RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 [10-71](#)

アクセス不能認証バイパス [1-12](#), [10-66](#)

クリティカル認証 [10-26](#), [10-66](#)

レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 [1-12](#), [10-32](#), [10-71](#)

レイヤ 2 IP 検証 [1-12](#)

## NameSpace Mapper

「NSM」を参照

## NEAT

概要 [10-33](#)

設定する [10-72](#)

## Network Admission Control

### NAC

## Network Assistant

guide モード [1-2](#)

イメージファイルをダウンロードする [1-2](#)

ウィザード [1-2](#)

管理オプション [1-2](#)

スイッチ スタックを管理する [5-2](#), [5-19](#)

スイッチをアップグレードする [A-25](#)

説明 [1-6](#)

利点 [1-2](#)

no switchport コマンド [12-5](#)

## Not-So-Stubby-Area

「NSSA」を参照

no コマンド [2-4](#)

NSAP、ISO IGRP アドレスとして [38-70](#)

## NSF 認識

IS-IS [38-72](#)

NSM [4-3](#)

NSSA、OSPF [38-34](#)

## NTP

アソシエーション

定義済み [7-2](#)

概要 [7-2](#)

サポート [1-7](#)

時刻

サービス [7-2](#)

同期をとる [7-2](#)

層 [7-2](#)

## O

### OpenIx

設定する [10-77](#)

### OpenIx 認証

概要 [10-32](#)

### Open Shortest Path First

「OSPF」を参照

### OSPF

IPv6 用 [39-7](#)

LSA グループ ペーシング [38-37](#)

インターフェイス パラメータ、設定 [38-33](#)

エリア パラメータ、設定 [38-34](#)

仮想リンク [38-35](#)

経路集約 [38-35](#)

サポート [1-15](#)

設定 [38-32](#)

説明 [38-27](#)

デフォルト設定

設定 [38-29](#)

メトリック [38-36](#)

ルート [38-35](#)

モニタリング [38-38](#)

ルータ ID [38-38](#)

## P

### PAgP

「EtherChannel」を参照

レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-9](#)

### PBR

イネーブル化 [38-106](#)

高速スイッチングされたポリシーベース ルーティング [38-108](#)

定義 [38-104](#)

ローカル ポリシーベース ルーティング [38-108](#)

PC (パッシブ コマンド スイッチ) [6-11](#)

PE/CE ルーティング、設定 [38-90](#)

Per-VLAN Spanning-Tree plus

「PVST+」を参照

## PIM

Shortest Path Tree、使用の延期 **46-39**

概要 **46-4**

共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 **46-38**

サポート **1-16**

スタブルーターティング

イネーブル化 **46-25**

概要 **46-5**

設定時の注意事項 **46-25**

表示 **46-67**

スパース モード

RPF 検索 **46-9**

概要 **46-5**

加入メッセージおよび共有ツリー **46-5**

プルーニング メッセージ **46-5**

デフォルト設定 **46-11**

デンス モード

RPF 検索 **46-9**

概要 **46-5**

ランデブー ポイント (RP)、説明 **46-5**

ネイバーの表示 **46-67**

バージョン

v2 の改善点 **46-4**

相互運用性 **46-12**

相互運用性に関するトラブルシューティング **46-37**

モードのイネーブル化 **46-14**

ルータ クエリー メッセージ インターバル、変更 **46-40**

PIM-DVMRP、スヌーピング方式としての **24-9**

## ping

概要 **49-15**

実行する **49-15**

文字出力の説明 **49-16**

## PoE

auto モード **12-9**

CDP に対する電力ネゴシエーションの拡張機能 **12-8**

Cisco インテリジェント電力管理 **12-8**

IEEE 電力分類レベル **12-8**

static モード **12-10**

サポートされるデバイス **12-7**

サポートされる標準 **12-8**

受電装置の検出と初期電力割り当て **12-8**

設定する **12-24**

低電力モードで動作する高電力装置 **12-8**

電力管理モード **12-9**

電力消費 **12-25**

電力消費を伴う CDP、説明 **12-8**

電力ネゴシエーションを伴う CDP、説明 **12-8**

トラブルシューティング **49-13**

パワー バジェット **12-25**

## POP 1-31

Port Aggregation Protocol

「EtherChannel」を参照

## Port Fast

イネーブルにする **20-13**

サポート **1-9**

説明 **20-2**

モード、スパンニングツリー **13-30**

## Protocol-Independent Multicast Protocol

「PIM」を参照

## PVST+

IEEE 802.1Q トランッキングの相互運用性 **18-12**

サポートされるインスタンス **18-11**

説明 **18-10**

## Q

### QoS

DSCP 透過 **35-47**

IP 電話

検出と信頼済みの設定 **35-21, 35-45**

自動分類とキューイング **35-21**

MQC コマンドと **35-1**

QoS ラベル、定義済み **35-4**

暗黙の拒否 **35-8**

概要 **35-2**

- 基本モデル [35-4](#)
- キュー
  - SRR、説明 [35-15](#)
  - WTD、説明 [35-14](#)
  - 出力特性を設定する [35-79](#)
  - 高優先順位（緊急） [35-20, 35-86](#)
  - 入力特性を設定する [35-75](#)
  - 場所 [35-14](#)
- クラス マップ
  - 設定する [35-53](#)
  - 表示 [35-87](#)
- グローバルにイネーブルにする [35-42](#)
- 再書き込み [35-20](#)
- サポート [1-14](#)
- 自動 QoS
  - 実行コンフィギュレーションでの影響 [35-33](#)
  - 初期設定を表示する [35-36](#)
  - 生成コマンドのリスト [35-24, 35-28](#)
  - 生成コマンドを表示する [35-36](#)
  - 設定時の注意事項 [35-33](#)
  - 設定とデフォルト表示 [35-36](#)
  - 説明 [35-21](#)
  - ディセーブルにする [35-36](#)
  - トラフィックを分類する [35-22](#)
- 出力インターフェイスで帯域幅を制限する [35-86](#)
- 出力キュー
  - DSCP 値または CoS 値のマッピング [35-82](#)
  - SRR の共有重みを設定する [35-85](#)
  - SRR のシェーピング重みを設定する [35-84](#)
  - WTD しきい値の設定 [35-80](#)
  - WTD、説明 [35-19](#)
  - しきい値マップを表示する [35-83](#)
  - スケジューリング、説明 [35-4](#)
  - 説明 [35-4](#)
  - バッファ領域を割り当てる [35-80](#)
  - バッファ割り当てスキーム、説明 [35-18](#)
  - フローチャート [35-18](#)
- 信頼状態
  - 信頼済みデバイス [35-45](#)
  - 説明 [35-5](#)
  - ドメイン内 [35-43](#)
  - 別のドメインとの境界 [35-47](#)
- 設定時の注意事項
  - 自動 QoS [35-33](#)
  - 標準 QoS [35-39](#)
- 設定する
  - DSCP の透過性 [35-47](#)
  - DSCP マップ [35-69](#)
  - IP 拡張 ACL [35-51](#)
  - IP 標準 ACL [35-49](#)
  - MAC ACL [35-52](#)
  - 自動 QoS [35-21](#)
  - 集約ポリシング機能 [35-67](#)
  - 出力キューの特性 [35-79](#)
  - 信頼境界 [35-45](#)
  - デフォルト ポート CoS 値 [35-45](#)
  - ドメイン内のポートの信頼状態 [35-43](#)
  - 入力キューの特性 [35-75](#)
  - 別のドメインとの境界での DSCP 信頼状態 [35-47](#)
  - ポリシー マップ、階層型 [35-60](#)
- デフォルト自動設定 [35-22](#)
- デフォルトの標準設定 [35-37](#)
- 統計情報を表示する [35-87](#)
- 入力キュー
  - DSCP 値または CoS 値のマッピング [35-75](#)
  - SRR の共有重みを設定する [35-77](#)
  - WTD しきい値の設定 [35-75](#)
  - WTD、説明 [35-17](#)
  - しきい値マップを表示する [35-76](#)
  - スケジューリング、説明 [35-4](#)
  - 説明 [35-4](#)
  - 帯域幅を割り当てる [35-77](#)
  - バッファと帯域幅の割り当て、説明 [35-17](#)
  - バッファ領域を割り当てる [35-77](#)
  - プライオリティ キュー、説明 [35-17](#)
  - プライオリティ キューを設定する [35-78](#)
  - フローチャート [35-16](#)

- パケットの変更 [35-20](#)
  - フローチャート
    - 出力キューイングとスケジューリング [35-18](#)
    - 入力キューイングとスケジューリング [35-16](#)
    - 分類 [35-7](#)
    - ポリシングとマーキング [35-11](#)
  - 分類
    - DSCP の透過性、説明 [35-47](#)
    - IP ACL、説明 [35-8](#)
    - IP トラフィックのオプション [35-6](#)
    - MAC ACL、説明 [35-5, 35-8](#)
    - クラス マップ、説明 [35-8](#)
    - 信頼 DSCP、説明 [35-5](#)
    - 信頼 IP precedence、説明 [35-5](#)
    - 信頼済み CoS、説明 [35-5](#)
    - 定義済み [35-4](#)
    - 転送処理 [35-3](#)
    - 非 IP トラフィックのオプション [35-5](#)
    - フレームとパケットでの [35-3](#)
    - フローチャート [35-7](#)
    - ポリシー マップ、説明 [35-8](#)
  - ポリサー
    - 設定 [35-58, 35-63, 35-67](#)
  - ポリシー、インターフェイスに接続する [35-10](#)
  - ポリシー マップ
    - SVI での階層 [35-60](#)
    - 階層 [35-9](#)
    - 特性 [35-55](#)
    - 表示する [35-88](#)
    - 物理ポートでの非階層 [35-55](#)
  - ポリシング
    - 説明 [35-4, 35-9](#)
    - トークン パケット アルゴリズム [35-10](#)
  - ポリシング機能
    - 数 [35-40](#)
    - 説明 [35-9](#)
    - タイプ [35-10](#)
    - 表示する [35-87](#)
  - マーキング、説明 [35-4, 35-9](#)
  - マークダウン アクション [35-58, 35-63](#)
  - マッピング テーブル
    - CoS/DSCP [35-69](#)
    - DSCP/CoS [35-72](#)
    - DSCP/DSCP 変換 [35-73](#)
    - IP precedence/DSCP [35-70](#)
    - タイプ [35-13](#)
    - 表示する [35-87](#)
    - ポリシング済み DSCP [35-71](#)
  - QoS の CoS 入力キューしきい値マップ [35-17](#)
  - QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ [35-17](#)
  - Quality of Service
    - 「QoS」を参照
- 
- ## R
- ### RADIUS
- AAA サーバ グループを定義する [9-33](#)
  - 概要 [9-19](#)
  - クラスタでの [6-17](#)
  - サーバ ロード バランシング [9-41](#)
  - サーバを指定する [9-29](#)
  - サポート [1-13](#)
  - 設定する
    - アカウンティング [9-36](#)
    - 通信、グローバル [9-29, 9-37](#)
    - 通信、サーバ単位 [9-29](#)
    - 認可 [9-35](#)
    - 認証 [9-31](#)
    - 複数 UDP ポート [9-29](#)
  - 設定を表示する [9-41](#)
  - 操作 [9-21](#)
  - 属性
    - ベンダー固有 [9-37](#)
    - ベンダー専用 [9-39](#)
  - デフォルト設定 [9-29](#)
  - ネットワーク環境の提案 [9-20](#)
  - 方式リスト、定義済み [9-28](#)
  - ユーザに対するサービスを制限する [9-35](#)

- ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする [9-36](#)
- RADIUS 許可の変更 [9-21](#)
- Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus
  - 「Rapid PVST+」を参照
- Rapid PVST+
  - IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 [18-12](#)
  - サポートされるインスタンス [18-11](#)
  - 説明 [18-10](#)
- RARP [38-10](#)
- rcommand コマンド [6-17](#)
- RCP
  - イメージファイル
    - アップロードする [A-40](#)
    - サーバを準備する [A-36](#)
    - ダウンロードする [A-37](#)
    - 古いイメージを削除する [A-39](#)
  - 設定ファイル
    - アップロードする [A-19](#)
    - 概要 [A-17](#)
    - サーバを準備する [A-17](#)
    - ダウンロードする [A-18](#)
- Remote Authentication Dial-In User Service
  - 「RADIUS」を参照
- RFC
  - 1058、RIP [38-21](#)
  - 1112、IP マルチキャストと IGMP [24-2](#)
  - 1157、SNMPv1 [32-2](#)
  - 1163、BGP [38-48](#)
  - 1166、IP アドレス [38-7](#)
  - 1253、OSPF [38-27](#)
  - 1267、BGP [38-48](#)
  - 1305、NTP [7-2](#)
  - 1587、NSSA [38-28](#)
  - 1757、RMON [30-2](#)
  - 1771、BGP [38-48](#)
  - 1901、SNMPv2C [32-2](#)
  - 1902 ~ 1907、SNMPv2 [32-2](#)
  - 2236、IP マルチキャストと IGMP [24-2](#)
  - 2273-2275、SNMPv3 [32-2](#)
- RFC 5176 規定 [9-23](#)
- RIP
  - IPv6 用 [39-7](#)
  - アドバタイズメント [38-22](#)
  - サポート [1-15](#)
  - サマリー アドレス [38-25](#)
  - スプリット ホライズン [38-25](#)
  - 設定 [38-23](#)
  - 説明 [38-22](#)
  - デフォルト設定 [38-22](#)
  - 認証 [38-25](#)
  - ホップ カウント [38-22](#)
- RMON
  - アラームとイベントをイネーブルにする [30-3](#)
  - 概要 [30-1](#)
  - サポート [1-17](#)
  - サポートされるグループ [30-2](#)
  - ステータスを表示する [30-6](#)
  - デフォルト設定 [30-3](#)
  - 統計情報
    - グループ イーサネットを収集する [30-6](#)
    - グループ履歴を収集する [30-5](#)
- route-map コマンド [38-107](#)
- Routing Information Protocol
  - 「RIP」を参照
- RPS
  - 「Cisco Redundant Power System 2300」を参照
- RPS 2300
  - 「Cisco Redundant Power System 2300」を参照
- RSPAN
  - VLAN ベース [29-7](#)
  - 宛先ポート [29-8](#)
  - 概要 [1-17, 29-1](#)
  - 受信トラフィック [29-5](#)
  - スイッチ スタックでの [29-2](#)
  - スタックの変更と [29-10](#)
  - ステータスを表示する [29-25](#)
  - セッション

作成する [29-19](#)  
 定義済み [29-4](#)  
 特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する [29-24](#)  
 入力トラフィックをイネーブルにする [29-23](#)  
 モニタリングされるポートを指定する [29-19](#)  
 セッションの制限 [29-11](#)  
 設定時の注意事項 [29-18](#)  
 送信トラフィック [29-6](#)  
 送信元ポート [29-6](#)  
 定義済み [29-3](#)  
 デフォルト設定 [29-11](#)  
 特性 [29-9](#)  
 他の機能との相互動作 [29-9](#)  
 モニタリングされるポート [29-6](#)  
 モニタリング ポート [29-8](#)

## RSTP

## BPDU

形式 [19-12](#)  
 処理 [19-13](#)

## IEEE 802.1D との相互運用性

移行プロセスの再起動 [19-27](#)  
 説明 [19-9](#)  
 トポロジの変更 [19-14](#)

「MSTP」も参照

アクティブ トポロジ [19-10](#)

概要 [19-9](#)

## 高速コンバージェンス

エッジ ポートおよび Port Fast [19-10](#)  
 クロススタック高速コンバージェンス [19-11](#)  
 説明 [19-10](#)  
 ポイントツーポイント リンク [19-10, 19-26](#)  
 ルート ポート [19-10](#)

指定スイッチ、定義 [19-9](#)

指定ポート、定義 [19-9](#)

提案合意ハンドシェイク プロセス [19-10](#)

## ポートの役割

説明 [19-9](#)  
 同期 [19-11](#)

ルート ポート、定義 [19-9](#)

## S

## SCP

SSH と [9-58](#)  
 設定する [9-58](#)

「SCP」を参照

SC (スタンバイ コマンド スイッチ) [6-11](#)

## SDM

スイッチ スタックの考慮事項 [5-12](#)  
 テンプレート  
 数 [8-1](#)  
 設定する [8-6](#)

SDM テンプレート [40-4](#)

集約 [8-1](#)  
 設定時の注意事項 [8-5](#)

設定する [8-5](#)

タイプ [8-1](#)

デスクトップ [8-1](#)

デュアル IPv4/IPv6 [8-2](#)

SDM ミスマッチ モード [5-12, 8-4](#)

## Secure Copy Protocol

## Secure Socket Layer

「SSL」を参照

set-request オペレーション [32-5](#)

## SFP

ステータス、表示する [49-14](#)  
 セキュリティと識別情報 [49-14](#)  
 番号付け [12-13](#)  
 モニタリング ステータス [12-35, 49-14](#)

show access-lists hw-summary コマンド [34-24](#)

show cdp traffic コマンド [26-5](#)

show cluster members コマンド [6-17](#)

show configuration コマンド [12-27](#)

show forward コマンド [49-23](#)

show interfaces switchport [21-4](#)

show interfaces コマンド [12-21, 12-27](#)

show l2protocol コマンド [17-14, 17-16, 17-17](#)



- show lldp traffic コマンド [27-12](#)
- show platform forward コマンド [49-23](#)
- show platform tcam コマンド [49-27](#)
- show running-config コマンド
  - ACL を表示する [34-22, 34-23, 34-35, 34-37](#)
  - インターフェイスの説明 [12-27](#)
- show コマンドと more コマンドの出力、フィルタリング [2-9](#)
- shutdown コマンド、インターフェイスでの [12-36](#)
- Small Form-Factor Pluggable モジュール
  - 「SFP」を参照
- SNAP [26-1](#)
- SNMP
  - CPU しきい値通知を設定する [32-17](#)
  - ifIndex 値 [32-6](#)
  - IP SLA と [43-2](#)
  - MIB 変数にアクセスする [32-4](#)
  - TFTP サーバによるアクセスを制限する [32-18](#)
  - エージェント
    - 説明 [32-4](#)
    - ディセーブルにする [32-8](#)
  - エンジン ID [32-7](#)
  - 概要 [32-1, 32-4](#)
  - クラスタでの [6-15](#)
  - クラスタを管理する [6-18](#)
  - グループ [32-7, 32-10](#)
  - コミュニティストリング
    - 概要 [32-4](#)
    - クラスタ スイッチの [32-4](#)
    - 設定する [32-8](#)
  - サポートされるバージョン [32-2](#)
  - システム接点と場所 [32-17](#)
  - システム ログ メッセージを NMS に対して制限する [31-10](#)
  - 情報
    - イネーブルにする [32-16](#)
    - 説明 [32-5](#)
    - ディセーブルにする [32-16](#)
    - トラップ キーワードと [32-13](#)
    - トラップとの違い [32-5](#)
    - ステータス、表示する [32-19](#)
    - セキュリティ レベル [32-3](#)
    - 設定例 [32-18](#)
    - 帯域内管理 [1-8](#)
    - 通知 [32-5](#)
    - デフォルト設定 [32-7](#)
    - トラップ
      - MAC アドレス通知をイネーブルにする [7-15, 7-18, 7-19](#)
      - イネーブルにする [32-13](#)
      - 概要 [32-1, 32-5](#)
      - 情報との違い [32-5](#)
      - 説明 [32-4, 32-5](#)
      - タイプ [32-13](#)
      - ディセーブルにする [32-16](#)
      - トラップ マネージャ、設定する [32-14](#)
- 認証レベル [32-11](#)
- ホスト [32-7](#)
- マネージャ機能 [1-6, 32-3](#)
- ユーザ [32-7, 32-10](#)
- SNMPv1 [32-2](#)
- SNMPv2C [32-2](#)
- SNMPv3 [32-3](#)
- SNMP と Syslog、IPv6 による [39-9](#)
- Source-Specific Multicast
  - 「SSM」を参照
- SPAN
  - VLAN ベース [29-7](#)
  - 宛先ポート [29-8](#)
  - 概要 [1-17, 29-1](#)
  - 受信トラフィック [29-5](#)
  - スタックの変更と [29-10](#)
  - ステータスを表示する [29-25](#)
  - セッション
    - 宛先（モニタリング）ポートを削除する [29-14](#)
    - 作成する [29-12](#)
    - 定義済み [29-4](#)

- 特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する [29-17](#)
- 入力転送を設定する [29-16, 29-24](#)
- 入力トラフィックをイネーブルにする [29-15](#)
- モニタリングされるポートを指定する [29-12](#)
- セッションの制限 [29-11](#)
- 設定時の注意事項 [29-11](#)
- 送信トラフィック [29-6](#)
- 送信元ポート [29-6](#)
- デフォルト設定 [29-11](#)
- ポート、制約事項 [25-13](#)
- 他の機能との相互動作 [29-9](#)
- モニタリングされるポート [29-6](#)
- モニタリング ポート [29-8](#)
- SPAN トラフィック [29-5](#)
- SRR
  - 共有モード [35-15](#)
  - サポート [1-15](#)
  - シェーピング モード [35-15](#)
  - 設定する
    - 出力キューでの共有重み [35-85](#)
    - 出力キューでのシェーピング重み [35-84](#)
    - 入力キューでの共有重み [35-77](#)
  - 説明 [35-15](#)
- SSH
  - 暗号化ソフトウェア イメージ [9-47](#)
  - 暗号化方式 [9-48](#)
  - スイッチ スタックの考慮事項 [5-19](#)
  - 設定する [9-48](#)
  - 説明 [1-8, 9-47](#)
  - ユーザ認証方式、サポートされる [9-48](#)
- SSL
  - 暗号化ソフトウェア イメージ [9-51](#)
  - セキュア HTTP クライアントを設定する [9-56](#)
  - セキュア HTTP サーバを設定する [9-55](#)
  - 設定時の注意事項 [9-54](#)
  - 説明 [9-51](#)
  - モニタリング [9-57](#)
- CGMP の制限 [46-17](#)
- IGMPv3 [46-15](#)
- IGMPv3 ホスト シグナリング [46-16](#)
- IGMP スヌーピング [46-17](#)
- Internet Standard Multicast との違い [46-15](#)
- IP アドレス範囲 [46-16](#)
- PIM [46-15](#)
- アドレス管理に関する制約 [46-17](#)
- コンポーネント [46-15](#)
- ステート維持の制限 [46-17](#)
- 設定 [46-15, 46-18](#)
- 設定時の注意事項 [46-16](#)
- 動作 [46-16](#)
- モニタリング [46-18](#)
- SSM マッピング [46-18](#)
- DNS ベース [46-20, 46-22](#)
- 概要 [46-19](#)
- スタティック [46-20, 46-21](#)
- スタティック トラフィック転送 [46-24](#)
- 制限 [46-19](#)
- 設定 [46-18, 46-21](#)
- 設定時の注意事項 [46-19](#)
- モニタリング [46-24](#)
- standby ip コマンド [42-6](#)
- STP
  - BackboneFast
    - イネーブルにする [20-17](#)
    - 説明 [20-8](#)
    - ディセーブルにする [20-17](#)
  - BPDU ガード
    - イネーブルにする [20-14](#)
    - 説明 [20-2](#)
    - ディセーブルにする [20-15](#)
  - BPDU フィルタリング
    - イネーブルにする [20-15](#)
    - 説明 [20-3](#)
    - ディセーブルにする [20-16](#)
  - BPDU メッセージ交換 [18-3](#)
  - EtherChannel ガード

- イネーブルにする [20-18](#)
- 説明 [20-10](#)
- ディセーブルにする [20-18](#)
- IEEE 802.1D とブリッジ ID [18-5](#)
- IEEE 802.1D とマルチキャスト アドレス [18-9](#)
- IEEE 802.1Q トランクでの制限 [18-12](#)
- IEEE 802.1t と VLAN 識別情報 [18-5](#)
- Port Fast
  - イネーブルにする [20-13](#)
  - 説明 [20-2](#)
- Port Fast 対応ポートのシャットダウン [20-2](#)
- UplinkFast
  - イネーブルにする [20-16](#)
  - 説明 [20-4](#)
- VLAN ブリッジ [18-13](#)
- インターフェイスの状態
  - 概要 [18-5](#)
  - ディセーブル [18-8](#)
  - 転送する [18-6, 18-8](#)
  - ブロッキング [18-7](#)
  - ラーニング [18-7](#)
  - リスニング [18-7](#)
- インターフェイスの状態、転送のブロッキング [20-2](#)
- 下位 BPDU [18-3](#)
- 概要 [18-2](#)
- カウンタ、クリア [18-26](#)
- 拡張システム ID
  - 概要 [18-5](#)
  - セカンダリ ルート スイッチの影響 [18-19](#)
  - 予期しない動作 [18-18](#)
  - ルート スイッチの影響 [18-17](#)
- 間接リンク障害を検出する [20-8](#)
- クロススタック UplinkFast
  - イネーブルにする [20-17](#)
  - 説明 [20-5](#)
- サポートされるインスタンス [18-11](#)
- サポートされるオプション機能 [1-9](#)
- サポートされる機能 [1-9](#)
- サポートされるプロトコル [18-10](#)
- サポートされるモード [18-10](#)
- 指定スイッチ、定義済み [18-4](#)
- 指定ポート、定義済み [18-4](#)
- 冗長接続性 [18-9](#)
- スイッチ スタックでのルート ポートの選択 [18-4](#)
- スタックの変更、影響 [18-13](#)
- ステータス、表示する [18-26](#)
- ステータスを表示する [18-26](#)
- 設定
  - hello タイム [18-23](#)
  - 最大エージング タイム [18-25](#)
  - セカンダリ ルート スイッチ [18-19](#)
  - 転送遅延時間 [18-24](#)
  - ポート プライオリティ [18-20](#)
  - 設定時の注意事項 [18-15, 20-12](#)
  - 設定する
    - スイッチ プライオリティ [18-22](#)
    - スパニングツリー モード [18-16](#)
    - 転送保留カウント [18-25](#)
    - パス コスト [18-21](#)
    - ルート スイッチ [18-17](#)
  - タイマー、説明 [18-23](#)
  - ディセーブルにする [18-17](#)
  - デフォルト設定 [18-14](#)
  - デフォルトのオプション機能設定 [20-12](#)
  - パス コスト [13-27](#)
  - ポート プライオリティ [13-26](#)
  - マルチキャスト アドレス、影響 [18-9](#)
  - モード間での相互運用性と互換性 [18-11](#)
  - 優位 BPDU [18-3](#)
  - ルート ガード
    - イネーブルにする [20-18](#)
    - 説明 [20-10](#)
  - ルート スイッチ
    - 拡張システム ID の影響 [18-5, 18-17](#)
    - 設定する [18-17](#)
    - 選択 [18-3](#)
    - 予期しない動作 [18-18](#)

ルータ スイッチ選択を防止する **20-10**  
 ルータ ポート選択のアクセラレーション **20-4**  
 ルータ ポート、定義済み **18-4**  
 ループ ガード  
   イネーブルにする **20-19**  
   説明 **20-11**  
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング **17-8**  
 ロード シェアリング  
   概要 **13-25**  
   パス コストを使用する **13-27**  
   ポート プライオリティを使用する **13-25**

SunNet Manager **1-6**

## SVI

IP ユニキャスト ルーティング **38-5**  
 VLAN 間でのルーティング **13-2**  
 VLAN の接続 **12-10**  
 定義 **12-5**  
 ルータ ACL **34-5**

SVI 自動ステート除外

設定する **12-29**  
 定義 **12-6**

SVI リンク ステート **12-6**

Switch Database Management

「SDM」を参照

switchport backup interface **21-4, 21-5**  
 switchport block multicast コマンド **25-8**  
 switchport block unicast コマンド **25-8**  
 switchport mode dot1q-tunnel コマンド **17-7**  
 switchport protected コマンド **25-7**  
 switchport コマンド **12-18**

Syslog

「システム メッセージ ロギング」を参照

## T

TACACS+

アカウントティング、定義済み **9-13**  
 概要 **9-11**  
 クラスタでの **6-17**

サーバを指定する **9-14**

サポート **1-13**

設定する

  アカウントティング **9-18**

  認可 **9-17**

  認証キー **9-14**

  ログイン認証 **9-15**

設定を表示する **9-19**

操作 **9-13**

デフォルト設定 **9-14**

認可、定義済み **9-13**

認証、定義済み **9-12**

ユーザに対するサービスを制限する **9-17**

ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする **9-18**

tar ファイル

  イメージファイルの形式 **A-26**

  作成する **A-6**

  抽出する **A-8**

  内容を表示する **A-7**

TCAM

  スペース

    HFTM **49-27**

    HQATM **49-27**

    未割り当て **49-27**

  メモリの整合性 **1-6, 49-27**

  メモリの整合性検査エラー

    例 **49-27**

  メモリの整合性検査ルーチン **1-6, 49-27**

TCL スクリプト、組み込みイベント マネージャによる登録と定義 **33-7**

TDR **1-18**

Telnet

  管理インターフェイスにアクセスする **2-10**

  接続数 **1-7**

  パスワードを設定する **9-6**

Terminal Access Controller Access Control System Plus

  「TACACS+」を参照

TFTP

- イメージファイル
    - アップロードする [A-30](#)
    - サーバを準備する [A-28](#)
    - 削除する [A-30](#)
    - ダウンロードする [A-28](#)
  - サーバによるアクセスを制限する [32-18](#)
  - 自動設定を設定する [3-7](#)
  - 設定ファイル
    - アップロードする [A-13](#)
    - サーバを準備する [A-11](#)
    - ダウンロードする [A-12](#)
  - ベース ディレクトリ の設定ファイル [3-8](#)
  - TFTP サーバ [1-6](#)
  - time-range コマンド [34-19](#)
  - TLV
    - LLDP [27-2](#)
    - LLDP-MED [27-2](#)
    - 定義済み [27-2](#)
  - ToS [1-14](#)
  - traceroute コマンド [49-19](#)
    - 「IP traceroute」も参照
  - traceroute、レイヤ 2
    - 1 ポートに複数のデバイス [49-18](#)
    - ARP [49-17](#)
    - CDP [49-17](#)
    - IP アドレスおよびサブネット [49-17](#)
    - MAC アドレスおよび VLAN [49-17](#)
    - 使用上の注意事項 [49-17](#)
    - 説明 [49-17](#)
    - ブロードキャスト トラフィック [49-17](#)
    - マルチキャスト トラフィック [49-17](#)
    - ユニキャスト トラフィック [49-17](#)
  - インターフェイスごとの [28-6](#)
  - インターフェイスをリセットする [28-6](#)
  - 概要 [28-1](#)
  - 検出メカニズムをエコーする [28-3](#)
  - サポート [1-9](#)
  - ステータス、表示する [28-7](#)
  - 設定時の注意事項 [28-4](#)
  - ディセーブルにする
    - インターフェイスごとの [28-6](#)
    - グローバルに [28-5](#)
    - 光ファイバ インターフェイスでの [28-5](#)
  - デフォルト設定 [28-4](#)
  - ネイバー データベース [28-2](#)
  - リンク検出メカニズム [28-1](#)
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-10](#)
  - UDLD シャットダウン インターフェイスをリセットする [28-6](#)
  - UDP ジッタ、設定する [43-10](#)
  - UDP ジッタ動作、IP SLA [43-9](#)
  - UDP、設定 [38-17](#)
  - unicast storm control コマンド [25-4](#)
  - UNIX Syslog サーバ
    - サポートされる機能 [31-14](#)
    - デーモンの設定 [31-13](#)
    - メッセージ ロギング設定 [31-13](#)
  - UplinkFast
    - イネーブルにする [20-16](#)
    - サポート [1-9](#)
    - 説明 [20-4](#)
    - ディセーブルにする [20-17](#)
- 
- ## U
- UDLD
    - イネーブル化
      - グローバル [28-5](#)
    - イネーブルにする
- 
- ## V
- VACL
    - ロギング
      - 設定例 [34-41](#)
    - VACL ロギングの設定 [34-40](#)
    - VACL ロギング パラメータ [34-41](#)
    - Version-Mismatch (VM) モード

auto-advise での手動でのアップグレード [5-14](#)

auto-extract でのアップグレード [5-14](#)

auto-upgrade での自動アップグレード [5-13](#)

## VLAN

1006 ~ 4094 の ID を設定する [13-12](#)

RSPAN での送信元トラフィックを制限する [29-24](#)

SPAN での送信元トラフィックを制限する [29-17](#)

STP と IEEE 802.1Q トランク [18-12](#)

SVI による接続 [12-10](#)

VLAN データベースに追加する [13-9](#)

VLAN ブリッジ STP [18-13, 48-2](#)

VTP モード [14-3](#)

拡張範囲 [13-1, 13-12](#)

機能 [1-10](#)

サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマー番号 [17-3](#)

削除する [13-10](#)

作成する [13-10](#)

サポートされる [13-3](#)

サポートされる番号 [1-10](#)

スイッチ スタックでの [13-7](#)

図示 [13-2](#)

スタティック アクセス ポート [13-11](#)

スパニングツリー インスタンスと [13-3, 13-7, 13-13](#)

設定 [13-1](#)

設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN [13-12](#)

設定時の注意事項、標準範囲 VLAN [13-6](#)

説明 [12-2, 13-1](#)

ダイナミック アドレスのエージング [18-10](#)

追加 [13-9](#)

デフォルト設定 [13-9](#)

トークンリング [13-6](#)

トラフィック [13-2](#)

トランク上での許可 [13-22](#)

内部 [13-13](#)

ネイティブ、設定する [13-24](#)

パラメータ [13-5](#)

表示する [13-16](#)

標準範囲 [13-1, 13-5](#)

変更する [13-9](#)

ポート メンバーシップ モード [13-3](#)

マルチキャスト [24-19](#)

vlan.dat ファイル [13-5](#)

VLAN 1、トランク ポート上でディセーブルにする [13-22](#)

VLAN 1 の最小化 [13-22](#)

VLAN ACL

「VLAN マップ」を参照

vlan dot1q tag native コマンド [17-5](#)

VLAN ID、検出する [7-25](#)

VLAN Query Protocol

「VQP」を参照

VLAN 間ルーティング [1-16, 38-2](#)

VLAN 管理ドメイン [14-2](#)

vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド [13-7](#)

VLAN コンフィギュレーション モード [2-2](#)

VLAN 設定

起動時 [13-8](#)

保存 [13-8](#)

VLAN データベース

VLAN の保存 [13-5](#)

VTP と [14-1](#)

スタートアップ コンフィギュレーション ファイルと [13-8](#)

保存されている VLAN 設定 [13-7](#)

VLAN トランキング プロトコル

「VTP」を参照

VLAN トランク [13-16](#)

VLAN フィルタリングと SPAN [29-7](#)

VLAN マップ

ACL と VLAN マップの例 [34-35](#)

一般的な使用方法 [34-38](#)

サーバに対するアクセス拒否の例 [34-39](#)

削除する [34-37](#)

作成 [34-35](#)

サポート [1-11](#)

設定時の注意事項 [34-34](#)

- 設定する [34-33](#)
- 定義済み [34-3](#)
- 適用 [34-37](#)
- パケットの拒否と許可 [34-35](#)
- 表示 [34-46](#)
- ワイヤリング クローゼットの設定例 [34-38](#)
- VLAN マップ エントリ、順序 [34-34](#)
- VLAN マネジメント ポリシー サーバ
  - 「VMPS」を参照
- VLAN メンバーシップ
  - 確認する [13-32](#)
  - モード [13-3](#)
- VLAN リンク ステート [12-6](#)
- VLAN ロード バランシング、Flex Link の
  - 設定時の注意事項 [21-8](#)
- VLAN 割り当て応答、VMPS [13-29](#)
- VMPS
  - MAC アドレスの VLAN へのマッピング [13-29](#)
  - 管理する [13-33](#)
  - サーバアドレスを入力する [13-31](#)
  - 再確認間隔、変更する [13-32](#)
  - 設定時の注意事項 [13-30](#)
  - 設定例 [13-34](#)
  - 説明 [13-28](#)
  - ダイナミック ポート メンバーシップ
    - 再確認する [13-32](#)
    - 説明 [13-29](#)
    - トラブルシューティング [13-34](#)
  - デフォルト設定 [13-30](#)
  - メンバーシップを再確認する [13-32](#)
  - モニタリング [13-33](#)
  - リトライ回数、変更する [13-33](#)
- Voice over IP [15-1](#)
- VPN
  - サービス プロバイダー ネットワーク内 [38-81](#)
  - フォワーディング [38-83](#)
  - ルーティングの設定 [38-90](#)
  - ルート [38-82](#)
- VPN ルーティングおよび転送テーブル
  - 「VRF」を参照
- VQP [1-10, 13-28](#)
- VRF
  - 定義 [38-83](#)
  - テーブル [38-81](#)
- VRF 認識サービス
  - ARP [38-87](#)
  - ftp [38-89](#)
  - HSRP [38-88](#)
  - ping [38-87](#)
  - RADIUS [38-88](#)
  - SNMP [38-87](#)
  - syslog [38-88](#)
  - tftp [38-89](#)
  - traceroute [38-89](#)
  - 設定 [38-86](#)
- VTP
  - アドバタイズメント [13-20, 14-4](#)
  - 拡張範囲 VLAN と [13-3, 14-2](#)
  - クライアント モード、設定する [14-14](#)
  - クライアントをドメインに追加する [14-17](#)
  - サーバ モード、設定する [14-12, 14-15](#)
  - サポート [1-10](#)
  - 使用する [14-1](#)
  - 整合性検査 [14-5](#)
  - 設定
    - 注意事項 [14-10](#)
    - 保存する [14-10](#)
    - 要件 [14-12](#)
  - 設定の要件 [14-12](#)
  - 設定リビジョン番号
    - 注意事項 [14-17](#)
    - リセットする [14-18](#)
  - 説明 [14-1](#)
  - デフォルト設定 [14-9](#)
  - 統計情報 [14-19](#)
  - トークンリングのサポート [14-5](#)
  - ドメイン [14-2](#)
  - ドメイン名 [14-10](#)

- トランスペアレント モード、設定 [14-12](#)
- バージョン
  - イネーブルにする [14-15](#)
- バージョン 1 [14-5](#)
- バージョン 2
  - 概要 [14-5](#)
  - 設定時の注意事項 [14-11](#)
- バージョン 3
  - 概要 [14-5](#)
- バージョン、注意事項 [14-11](#)
- パスワード [14-10](#)
- 標準範囲 VLAN と [13-3, 14-2](#)
- プルーニング
  - イネーブルにする [14-16](#)
  - 概要 [14-6](#)
  - サポート [1-10](#)
  - ディセーブルにする [14-17](#)
  - 例 [14-7](#)
- プルーニング適格リスト、変更する [13-23](#)
- モード
  - オフ [14-4](#)
  - クライアント [14-3](#)
  - サーバ [14-3](#)
  - トランスペアレント [14-4](#)
  - 変遷 [14-3](#)
- モニタリング [14-19](#)
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-8](#)
- ダイナミック サービス グループ [45-3](#)
- デフォルト設定 [45-5](#)
- 転送方式 [45-3](#)
- 認証 [45-3](#)
- ネゴシエーション [45-3](#)
- パケットのリダイレクト [45-3](#)
- パケット戻し方式 [45-3](#)
- パスワードの設定 [45-7](#)
- 表示 [45-10](#)
- メッセージ交換 [45-2](#)
- モニタリングおよびメンテナンス [45-10](#)
- レイヤ 2 ヘッダー書き換え [45-3](#)
- Web Cache Communication Protocol
  - 「WCCP」を参照
- Web 認証 [10-18](#)
  - 設定する [11-16 ~ ??](#)
  - 説明 [1-10](#)
- Web ベース認証
  - カスタマイズ可能な Web ページ [11-6](#)
  - 説明 [11-1](#)
- Web ベース認証、他の機能との相互作用 [11-7](#)
- Weighted Tail Drop
  - 「WTD」を参照
- WTD
  - サポート [1-15](#)
  - しきい値を設定する
    - 出力キュー セット [35-80](#)
    - 入力キュー [35-75](#)
  - 説明 [35-14](#)

---

## W

### WCCP

- MD5 セキュリティ [45-3](#)
- イネーブル化 [45-6](#)
- クライアントから受信したトラフィックのリダイレクト [45-6](#)
- サポートしない WCCPv2 機能 [45-5](#)
- サポートしない機能 [45-5](#)
- 設定時の注意事項 [45-6](#)
- 説明 [45-1](#)

---

## X

- Xmodem プロトコル [49-2](#)

---

## あ

- アカウンティング
  - 802.1x での [10-56](#)
  - IEEE 802.1x での [10-17](#)



- RADIUS での [9-36](#)
- TACACS+ での [9-13, 9-18](#)
- アクセス拒否応答、VMPS [13-29](#)
- アクセス グループ
  - IPv4 ACL をインターフェイスに対して適用する [34-23](#)
  - レイヤ 2 [34-23](#)
  - レイヤ 3 [34-23](#)
- アクセス コントロール エントリ
  - 「ACE」を参照
- アクセス コントロール エントリ (ACE) [40-3](#)
- アクセスする
  - クラスタ、スイッチ [6-14](#)
  - コマンド スイッチ [6-12](#)
  - スイッチ クラスタ [6-14](#)
  - メンバ スイッチ [6-14](#)
- アクセスする、スタック メンバに [5-26](#)
- アクセス、テンプレートの [8-1](#)
- アクセス不能認証バイパス [10-26](#)
  - multiauth ポートのサポート [10-26](#)
- アクセス ポート
  - スイッチ クラスタでの [6-10](#)
  - 定義済み [12-3](#)
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-11](#)
- アクセス リスト
  - 「ACL」を参照
- アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA [43-1](#)
- アクティブ リンク [21-2, 21-4, 21-5, 21-6](#)
- アクティブ ルータ [42-2](#)
- アップグレードする、ソフトウェア イメージを
  - 「ダウンロードする」を参照
- アップロードする
  - イメージ ファイル
    - FTP を使用する [A-35](#)
    - RCP を使用する [A-40](#)
    - TFTP を使用する [A-30](#)
    - 準備する [A-28, A-31, A-36](#)
    - 理由 [A-25](#)
  - 設定ファイル
    - FTP を使用する [A-16](#)
    - RCP を使用する [A-19](#)
    - TFTP を使用する [A-13](#)
    - 準備する [A-11, A-14, A-17](#)
    - 理由 [A-9](#)
- 宛先 IP アドレス ベース転送、EtherChannel [36-9](#)
- 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel [36-9](#)
- 宛先アドレス
  - IPv4 ACL での [34-14](#)
  - IPv6 ACL [40-6](#)
- アドバタイズメント
  - CDP [26-1](#)
  - LLDP [27-2](#)
  - RIP [38-22](#)
  - VTP [13-20, 14-3, 14-4](#)
- アドミニストレーティブ ディスタンス
  - OSPF [38-36](#)
  - 定義 [38-111](#)
  - ルーティング プロトコルのデフォルト [38-99](#)
- アドレス
  - IPv6 [39-2](#)
  - MAC アドレス テーブルを表示する [7-24](#)
  - MAC、検出する [7-25](#)
  - スタティック
    - 追加と削除 [7-20](#)
    - 定義済み [7-12](#)
  - ダイナミック
    - エージング タイムを変更する [7-14](#)
    - エージングのアクセラレーション [18-10](#)
    - 削除する [7-15](#)
    - 定義済み [7-12](#)
    - デフォルト エージング [18-10](#)
    - ラーニング [7-13](#)
- マルチキャスト
  - STP アドレス管理 [18-9](#)
  - グループ アドレス範囲 [46-3](#)
- アドレス解決 [7-24, 38-10](#)
- アドレス解決プロトコル
  - 「ARP」を参照

アドレスのエイリアス [24-2](#)  
 アプリケーション エンジン、トラフィックのリダイレクト [45-1](#)  
 アベイラビリティ、機能 [1-8](#)  
 アラーム、RMON [30-4](#)  
 暗号化、CipherSuite [9-53](#)  
 暗号化ソフトウェア イメージ  
     Kerberos [9-41](#)  
     SSH [9-47](#)  
     SSL [9-51](#)  
     スイッチ スタックの考慮事項 [5-19](#)  
 暗号化、パスワードの [9-3](#)

---

## い

イーサネット VLAN  
     追加する [13-9](#)  
     デフォルトと範囲 [13-9](#)  
     変更する [13-9](#)  
 イーサネット経由の電源供給  
     「PoE」を参照  
 一時的な自己署名証明書 [9-52](#)  
 一致する、IPv4 ACL [34-8](#)  
 一般クエリー [21-5](#)  
 イネーブル シークレット パスワード [9-3](#)  
 イネーブル パスワード [9-3](#)  
 イベント、RMON [30-4](#)  
 イベント検出器、組み込みイベント マネージャ [33-3](#)  
 インターネット制御メッセージ プロトコル  
     「ICMP」を参照  
 インターネット プロトコル バージョン 6  
     「IPv6」を参照  
 インターフェイス  
     Auto-MDIX、設定する [12-23](#)  
     カウンタ、クリアする [12-35](#)  
     管理 [1-6](#)  
     再起動 [12-36](#)  
     サポートされる [12-12](#)  
     シャットダウンする [12-36](#)

情報を表示する [12-34](#)  
 ステータス [12-34](#)  
 設定時の注意事項  
     10 ギガビット イーサネット [12-19](#)  
     デュプレックスと速度 [12-20](#)  
 設定する  
     手順 [12-13](#)  
 説明 [12-27](#)  
 タイプ [12-1](#)  
 デフォルト設定 [12-18](#)  
 デュプレックスと速度、設定する [12-21](#)  
 範囲 [12-14](#)  
 範囲マクロ [12-15](#)  
 番号 [12-12](#)  
 物理、指定する [12-12](#)  
 フロー制御 [12-22](#)  
 命名する [12-27](#)  
 モニタリング [12-34](#)  
 わかりやすい名前、追加 [12-27](#)  
 インターフェイス コマンド [12-12 ~ 12-13](#)  
 インターフェイス コンフィギュレーション モード [2-3](#)  
 インターフェイス タイプ [12-12](#)

---

## う

ウィザード [1-2](#)

---

## え

永続的な自己署名証明書 [9-52](#)  
 エージング タイム  
     MAC アドレス テーブル [7-14](#)  
     アクセラレーション  
         MSTP の [19-24](#)  
         STP での [18-10, 18-24](#)  
     最大  
         MSTP [19-25](#)  
         STP での [18-25](#)  
 エージング、短縮 [18-10](#)

エラー メッセージ、コマンド入力中の **2-5**

エリア ボーダ ルータ

「ABR」を参照

エリア ルーティング

IS-IS **38-70**

ISO IGRP **38-70**

## お

応答側、IP SLA

イネーブルにする **43-8**

説明 **43-4**

応答時間、IP SLA で測定する **43-4**

オブジェクト トラッキング

HSRP **44-7**

IP SLA **44-9**

IP SLA、設定 **44-9**

モニタリング **44-14**

オブジェクト トラッキングのプライマリ インターフェイス、DHCP、設定 **44-11**

オブジェクトのトラッキング **44-1**

オプション、管理 **1-6**

オフ モード、VTP **14-4**

オフライン設定、スイッチ スタックの **5-8**

音声 VLAN

Cisco 7960 Phone、ポート接続 **15-1**

IP 電話音声トラフィック、説明 **15-2**

IP 電話データ トラフィック、説明 **15-2**

IP 電話への接続 **15-4**

音声トラフィックに対してポートを設定する

802.1p プライオリティ タグ付きフレーム **15-6**

音声トラフィック用のポート設定

802.1Q フレーム **15-5**

設定時の注意事項 **15-3**

説明 **15-1**

データ トラフィックに対して IP 電話を設定する

着信フレームの CoS のオーバーライド **15-7**

着信フレームの CoS プライオリティの信頼 **15-7**

デフォルト設定 **15-3**

表示する **15-8**

音声認識 802.1x セキュリティ

ポートベース認証

設定する **10-43**

説明 **10-33, 10-43**

オンライン診断

概要 **50-1**

テストの実行 **50-3**

## か

階層、NTP **7-2**

階層型ポリシー マップ

設定時の注意事項 **35-40**

設定する **35-60**

説明 **35-12**

階層ポリシー マップ **35-9**

ガイド モード **1-2**

回復手順 **49-1**

外部ネイバー、BGP **38-52**

カウンタ、インターフェイスをクリアする **12-35**

拡散更新アルゴリズム (DUAL) **38-39**

拡張 crashinfo ファイル **49-26**

拡張 IGRP

「EIGRP」を参照

拡張オブジェクト トラッキング

DHCP プライマリ インターフェイス **44-11**

HSRP **44-7**

IP SLA **44-9**

IP SLA でのネットワーク モニタリング **44-11**

IP ルーティング ステート **44-2**

コマンド **44-1**

スタティック ルート プライマリ インターフェイス **44-11**

追跡リスト **44-3**

定義 **44-1**

バックアップ スタティック ルーティング **44-13**

ラインプロトコル ステート **44-2**

ルーティング ポリシー、設定 **44-13**

拡張オブジェクト トラッキングのスタティック ルーティング **44-10**

拡張システム ID

- MSTP **19-18**
- STP **18-5, 18-17**

拡張範囲 VLAN

- 作成する **13-13**
- 設定 **13-12**
- 設定時の注意事項 **13-12**
- 定義済み **13-1**
- 内部 VLAN ID を指定した作成 **13-15**

拡張ユニバーサル識別情報

- 「EUI」を参照

カスタマイズ可能な Web ページ、Web ベース認証 **11-6**

仮想 IP アドレス

- クラスタ スタンバイ グループ **6-12**
- コマンド スイッチ **6-12**

仮想スイッチと PAgP **36-6**

仮想ルータ **42-2**

簡易ネットワーク管理プロトコル

- 「SNMP」を参照

環境変数、機能 **3-24**

環境変数、組み込みイベント マネージャ **33-5**

管理 VLAN

- 異なる管理 VLAN での検出 **6-8**
- スイッチ クラスタでの考慮事項 **6-8**

管理アクセス

- 帯域外コンソール ポート接続 **1-8**
- 帯域内
  - CLI セッション **1-7**
  - SNMP **1-8**
  - デバイス マネージャ **1-7**
  - ブラウザ セッション **1-7**

管理アドレス TLV **27-2**

管理オプション

- CLI **2-1**
- CNS **4-1**
- Network Assistant **1-2**

概要 **1-6**

クラスタリング **1-3**

管理の簡易性に関する機能 **1-6**

---

## き

キー発行局

- 「KDC」を参照

ギガビット モジュール

- 「SFP」を参照 **1-25**

起動

- 手動 **3-21**

機能、非互換 **25-13**

逆アドレス解決 **38-10**

逆アドレス解決プロトコル

- 「RARP」を参照

許可 VLAN リスト **13-22**

許可ポート、IEEE 802.1x での **10-11**

緊急キュー、QoS の **35-86**

---

## <

クエリー、IGMP **24-4**

クエリー送信要求、IGMP **24-13**

組み込みイベント マネージャ

- 3.2 **33-5**
- TCL スクリプトの登録と定義 **33-7**
- アクション **33-4**
- アプレットの登録と定義 **33-6**
- イベント検出器 **33-3**
- 概要 **33-1**
- 環境変数 **33-5**
- 情報の表示 **33-8**
- 設定 **33-1, 33-6**
- ポリシー **33-4**

クライアント プロセス、トラッキング **44-1**

クライアント モード、VTP **14-3**

クラスタ グループおよび HSRP グループのバインド **42-12**

## クラスタ、スイッチ

LRE プロファイルの考慮事項 **6-17**

アクセスする **6-14**

管理する

CLI を使用して **6-17**

SNMP を介して **6-18**

互換性 **6-5**

自動回復 **6-11**

自動検出 **6-5**

説明 **6-1**

プランニング **6-5**

プランニングの考慮事項

CLI **6-17**

IP アドレス **6-14**

LRE プロファイル **6-17**

RADIUS **6-17**

SNMP **6-15, 6-18**

TACACS+ **6-17**

自動回復 **6-11**

自動検出 **6-5**

スイッチ スタック **6-15**

パスワード **6-15**

ホスト名 **6-14**

利点 **1-2**

「候補スイッチ」、「コマンドスイッチ」、「クラスタスタンバイグループ」、「メンバスイッチ」、「スタンバイコマンドスイッチ」も参照

## クラスタ スタンバイグループ

HSRP グループ **42-12**

仮想 IP アドレス **6-12**

考慮事項 **6-12**

自動回復 **6-13**

定義済み **6-2**

要件 **6-3**

「HSRP」も参照

## クラス マップ、QoS の

設定する **35-53**

説明 **35-8**

表示する **35-87**

## クラスレス ドメイン間ルーティング

「CIDR」を参照

クラスレス ルーティング **38-8**

クリアする、インターフェイスを **12-35**

クリティカル VLAN **10-26**

クリティカル音声 VLAN

設定 **10-66**

クリティカル認証、IEEE 802.1x **10-66**

グローバル コンフィギュレーション モード **2-2**

グローバルな脱退、IGMP **24-13**

クロススタック EtherChannel

サポート **1-9**

図 **36-4**

設定時の注意事項 **36-13**

設定する

レイヤ 2 インターフェイスでの **36-13**

レイヤ 3 物理インターフェイスでの **36-17**

説明 **36-3**

クロススタック UplinkFast、STP

Fast Uplink Transition Protocol **20-7**

イネーブルにする **20-17**

高速コンバージェンス イベント **20-7**

サポート **1-9**

説明 **20-5**

通常コンバージェンス イベント **20-7**

ディセーブルにする **20-17**

クロック

「システムクロック」を参照

## け

経路集約、OSPF **38-35**

ケーブル、単方向リンクのモニタリング **28-1**

ゲスト VLAN と 802.1x **10-24**

権限レベル

回線に対するデフォルトを変更する **9-10**

概要 **9-2, 9-9**

既存の **9-11**

コマンドスイッチ **6-18**

コマンドを設定する [9-9](#)

メンバスイッチでのマッピング [6-18](#)

ロギング [9-11](#)

検出、クラスタ

「自動検出」を参照

検出する、間接リンク障害を、STP [20-8](#)

## こ

構成設定、保存する [3-17](#)

高速コンバージェンス [19-10](#)

高速スパニングツリー プロトコル

「RSTP」を参照

候補スイッチ

自動検出 [6-5](#)

定義済み [6-4](#)

要件 [6-4](#)

「コマンドスイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバスイッチ」も参照

互換性、機能 [25-13](#)

互換性、ソフトウェア

「スタック、スイッチ」を参照

コマンド

no 形式と default 形式 [2-4](#)

短縮形 [2-4](#)

コマンド、権限レベルを設定する [9-9](#)

コマンドスイッチ

アクセスする [6-12](#)

アクティブ (AC) [6-11](#)

置き換える

クラスタ メンバでの [49-9](#)

別のスイッチとの [49-11](#)

回復

失われたメンバ接続性からの [49-12](#)

コマンドスイッチの障害からの [6-11, 49-9](#)

冗長 [6-11](#)

スタンバイ (SC) [6-11](#)

設定の矛盾 [49-12](#)

定義済み [6-2](#)

パスワード権限レベル [6-18](#)

パッシブ (PC) [6-11](#)

プライオリティ [6-11](#)

要件 [6-3](#)

「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「メンバスイッチ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

コマンドモード [2-1](#)

コマンドライン インターフェイス

「CLI」を参照

コミュニティ VLAN [16-2, 16-3](#)

コミュニティ ストリング

SNMP [6-15](#)

概要 [32-4](#)

クラスタ スイッチの [32-4](#)

クラスタでの [6-15](#)

設定する [6-15, 32-8](#)

コミュニティ ポート [16-2](#)

コミュニティ リスト、BGP [38-63](#)

壊れたソフトウェア、Xmodem での回復手順 [49-2](#)

コンソール ポート、接続する [2-10](#)

コンテンツ ルーティング テクノロジー

「WCCP」を参照

コンフィギュレーション ファイル

パスワード回復のディセーブル時の考慮事項 [9-5](#)

コンフィギュレーション ロギング [2-5](#)

コンポーネント管理 TLV [27-3, 27-7](#)

## さ

サーバ モード、VTP [14-3](#)

サービス拒絶攻撃 [25-1](#)

サービス クラス

「CoS」を参照

サービス プロバイダー ネットワーク

EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-9](#)

IEEE 802.1Q トンネリング [17-1](#)

カスタマー VLAN [17-2](#)

レイヤ 2 プロトコル [17-8](#)

サービスプロバイダー ネットワーク

MSTP および RSTP [19-1](#)

再確認間隔、VMPS、変更する [13-32](#)

再確認する、ダイナミック VLAN メンバーシップを [13-32](#)

最大エイジング タイム

MSTP [19-25](#)

STP [18-25](#)

最大数、ポートあたりのデバイスの、ポートベース認証 [10-42](#)

最大ホップ カウント、MSTP [19-25](#)

最適化する、システム リソースを [8-1](#)

削除する、VLAN を [13-10](#)

サブドメイン、プライベート VLAN [16-1](#)

サブネット ゼロ [38-8](#)

サブネット マスク [38-7](#)

サポートされるポートベース認証方式 [10-8](#)

時間帯 [7-5](#)

手動で [7-5](#)

夏時間 [7-6](#)

日時を表示する [7-5](#)

「NTP」も参照

システム プロンプト、デフォルト設定 [7-7, 7-8](#)

システム名

手動での設定 [7-8](#)

デフォルト設定 [7-8](#)

「DNS」も参照

システム名 TLV [27-2](#)

システム メッセージ ロギング

Syslog 機能 [1-17](#)

UNIX Syslog サーバ

サポートされる機能 [31-14](#)

デーモンを設定する [31-13](#)

ロギング機能を設定する [31-13](#)

イネーブルにする [31-5](#)

エラー メッセージの重大度を定義する [31-9](#)

概要 [31-1](#)

機能キーワード、説明 [31-14](#)

シーケンス番号、イネーブルとディセーブル [31-8](#)

スタックの変更、影響 [31-2](#)

設定を表示する [31-18](#)

タイム スタンプ、イネーブルとディセーブル [31-8](#)

ディセーブルにする [31-4](#)

デフォルト設定 [31-4](#)

表示宛先デバイスを設定する [31-5](#)

メッセージの形式 [31-2](#)

メッセージを制限する [31-10](#)

レベル キーワード、説明 [31-10](#)

ログ メッセージの同期をとる [31-6](#)

システム リソース、最適化する [8-1](#)

システム ルーティング

IS-IS [38-70](#)

ISO IGRP [38-70](#)

実行コンフィギュレーション

置き換える [A-20, A-21](#)

ロールバックする [A-20, A-22](#)

## し

シーケンス番号、ログ メッセージの [31-8](#)

シェイプド ラウンドロビン

「SRR」を参照

時間帯 [7-5](#)

時間範囲、ACL での [34-19](#)

しきい値、トラフィック レベル [25-2](#)

しきい値のモニタリング、IP SLA [43-6](#)

時刻

「NTP とシステム クロック」を参照

シスコ エクスプレス フォワーディング

「CEF」を参照

システム MTU

IS-IS LSP [38-75](#)

システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング [17-5](#)

システム記述 TLV [27-2](#)

システム機能 TLV [27-2](#)

システム クロック

概要 [7-1](#)

設定する

- 実行コンフィギュレーション、保存する **3-17**
- 自動 QoS
  - 「QoS」を参照
- 自動 QoS ビデオ デバイス **1-15**
- 自動 RP、説明 **46-7**
- 自動アップグレード (auto-upgrade)、スイッチ スタックでの **5-13**
- 自動アドバイス (auto-advise)、スイッチ スタックでの **5-14**
- 自動イネーブル化 **10-34**
- 自動回復、クラスタ **6-11**
- 自動検出
  - 考慮事項
    - CDP 非対応デバイス **6-6**
    - 管理 VLAN **6-8**
    - クラスタ非対応デバイス **6-6**
    - 異なる VLAN **6-7**
    - 最新のスイッチ **6-10**
    - 接続性 **6-5**
    - 非候補デバイスの先 **6-8**
    - ルーテッド ポート **6-9**
    - スイッチ クラスタでの **6-5**
  - 「CDP」も参照
- 自動検知、ポート速度 **1-4**
- 自動コピー (auto-copy)、スイッチ スタックでの **5-13**
- 自動ステート除外 **12-6**
- 自動設定 **3-3**
- 自動抽出 (auto-extract)、スイッチ スタックでの **5-14**
- 自動ネゴシエーション
  - インターフェイス設定時の注意事項 **12-20**
  - デュプレックス モード **1-4**
  - 不一致 **49-13**
- 自動復旧、クラスタ
  - 「HSRP」も参照
- 重大度、システム メッセージで定義する **31-9**
- 柔軟な認証の順序設定
  - 概要 **10-32**
  - 設定する **10-77**
- 集約アドレス、BGP **38-65**
- 集約グローバルユニキャストアドレス **39-4**
- 集約テンプレート **5-12, 8-1**
- 集約ポート
  - 「EtherChannel」を参照
- 集約ポリシング **1-14**
- 集約ポリシング機能 **35-67**
- 受動インターフェイス
  - OSPF **38-36**
  - 設定 **38-109**
- 準備状態チェック
  - ポートベース認証
    - 設定する **10-42**
    - 説明 **10-18, 10-42**
- 照合
  - IPv6 ACL **40-3**
- 冗長性
  - EtherChannel **36-3**
  - HSRP **42-1**
  - STP
    - パス コスト **13-27**
    - バックボーン **18-9**
    - ポート プライオリティ **13-25**
    - マルチドロップ バックボーン **20-5**
- 冗長電源システム
  - 「Cisco Redundant Power System 2300」を参照
- 冗長リンクと UplinkFast **20-16**
- 初期設定
  - Express Setup **1-2**
  - デフォルト **1-19**
- 侵入検知システム
  - 「IDS 装置」を参照
- 信頼される境界、QoS の **35-45**
- 信頼状態、ポートの
  - IP 電話のポート セキュリティを確立する **35-45**
  - QoS ドメイン間 **35-47**
  - QoS ドメイン内 **35-43**
  - 分類オプション **35-5**
- 信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP **38-40**



## す

スイッチ間リンク

「ISL」を参照

スイッチ仮想インターフェイス

「SVI」を参照

スイッチ コンソール ポート **1-8**

スイッチ ソフトウェア機能 **1-1**

スイッチド パケット、ACL **34-43**

スイッチド ポート **12-2**

スイッチド ポート アナライザ

「SPAN」を参照

スイッチのクラスタ化テクノロジー **6-1**

「クラスタ、スイッチ」も参照

スイッチ プライオリティ

MSTP **19-23**

STP **18-22**

スーパーネット **38-8**

スケジューリング、IP SLA 動作 **43-5**

スケジュール、リロードの **3-24**

スタートアップ コンフィギュレーション

クリアする **A-20**

設定ファイル

自動的にダウンロードする **3-20**

ファイル名を指定する **3-20**

ブーティング

手動で **3-21**

特定のイメージ **3-22**

スタック、スイッチ

auto-advise **5-14**

auto-copy **5-13**

auto-extract **5-14**

CDP の考慮事項 **26-2**

HSRP の考慮事項 **42-5**

IPv6 **39-11**

MAC アドレス **5-7, 5-22**

MAC アドレスの考慮事項 **7-14**

STP

サポートされるインスタンス **18-11**

スタック ルート スイッチの選択 **18-3**

ブリッジ ID **18-3**

ルート ポートの選択 **18-4**

Version-Mismatch (VM) モード

auto-advise での手動でのアップグレード **5-14**

auto-extract でのアップグレード **5-14**

auto-upgrade での自動アップグレード **5-13**

例 **5-14**

アップグレードする **A-41**

あるメンバから別のメンバへイメージ ファイルをコピーする **A-41**

永続的 MAC アドレス タイマーをイネーブルにする **5-22**

オフライン設定

新メンバのプロビジョニング **5-25**

説明 **5-8**

プロビジョニングされるスイッチ、定義済み **5-8**

プロビジョニングされるスイッチの置き換えの影響 **5-11**

プロビジョニングされるスイッチの削除の影響 **5-11**

プロビジョニングされるスイッチの追加の影響 **5-9**

プロビジョニングされる設定、定義済み **5-8**

管理する **5-1**

管理接続 **5-19**

クラスタでの **6-15**

互換性、ソフトウェア **5-12**

互換性のないソフトウェアとイメージのアップグレード **5-16, A-41**

サポートされる MSTP インスタンス **18-11**

システム全体の設定での考慮事項 **5-17**

システム プロンプトの考慮事項 **7-7**

システム メッセージ

表示のホスト名 **31-1**

リモートでのモニタリング **31-2**

自動アップグレード **5-13**

障害が発生したメンバを置き換える **5-17**

情報を表示する **5-27**

情報を割り当てる

- 新メンバのプロビジョニング [5-25](#)
- プライオリティ値 [5-25](#)
- メンバ番号 [5-24](#)
- スタック プロトコル バージョン [5-12](#)
- 設定シナリオ [5-20](#)
- 設定ファイル [5-17](#)
- 説明 [5-1](#)
- ソフトウェア イメージ バージョン [5-12](#)
- ソフトウェアの互換性 [5-12](#)
- デフォルト設定 [5-22](#)
- 特定のスタック メンバの CLI にアクセスする [5-26](#)
- バージョンミスマッチ モード
  - 説明 [5-13](#)
- パーティション化される [5-4, 49-8](#)
- ハードウェアの互換性と SDM ミスマッチ モード [5-12](#)
- ブリッジ ID [5-7](#)
- プロビジョニングされるスイッチ
  - 置き換える [5-11](#)
  - 削除する [5-11](#)
  - 追加する [5-9](#)
- マージされる [5-4](#)
- マルチキャスト ルーティング、スタック マスターおよびメンバーの役割 [46-10](#)
- メンバーシップ [5-3](#)
- 「スタック マスターとスタック メンバ」も参照
- スタックの変更
  - 影響
    - IPv6 ルーティング [39-11](#)
- スタックの変更、影響
  - 802.1x ポートベース認証 [10-12](#)
  - ACL 設定 [34-7](#)
  - CDP [26-2](#)
  - EtherChannel [36-10](#)
  - HSRP [42-5](#)
  - IGMP スヌーピング [24-7](#)
  - IPv6 ACL [40-4](#)
  - IP ルーティング [38-4](#)
  - MAC アドレス テーブル [7-14](#)
  - MSTP [19-8](#)
  - MVR [24-19](#)
  - SDM テンプレートの選択 [8-4](#)
  - SNMP [32-1](#)
  - SPAN と RSPAN [29-10](#)
  - STP [18-13](#)
  - VLAN [13-7](#)
  - VTP [14-8](#)
  - クロススタック EtherChannel [36-13](#)
  - システム メッセージ ログ [31-2](#)
  - スイッチ クラスタ [6-15](#)
  - フォールバック ブリッジング [48-3](#)
  - ポート セキュリティ [25-20](#)
  - マルチキャスト ルーティング [46-10](#)
  - スタック プロトコル バージョン [5-12](#)
  - スタック マスター
    - IPv6 [39-12](#)
    - 「スタック、スイッチ」も参照
    - 選択 [5-5](#)
    - 定義済み [5-1](#)
    - ブリッジ ID (MAC アドレス) [5-7](#)
  - スタック メンバ
    - IPv6 [39-12](#)
    - 置き換える [5-17](#)
    - 数 [5-7](#)
    - 情報を表示する [5-27](#)
    - 新メンバのプロビジョニング [5-25](#)
    - 「スタック、スイッチ」も参照
    - 設定する
      - プライオリティ値 [5-25](#)
      - メンバ番号 [5-24](#)
    - 定義済み [5-1](#)
    - 特定のスタック メンバの CLI にアクセスする [5-26](#)
    - プライオリティ値 [5-8](#)
  - スタック メンバ番号 [12-12](#)
  - スタティック IP ルーティング [1-16](#)
  - スタティック MAC アドレッシング [1-11](#)
  - スタティック SSM マッピング [46-20, 46-21](#)
  - スタティック VLAN メンバーシップ [13-2](#)

- スタティック アクセス ポート
    - VLAN に割り当てる [13-11](#)
    - 定義済み [12-3, 13-3](#)
  - スタティック アドレス
    - 「アドレス」を参照
  - スタティック トラフィック転送 [46-24](#)
  - スタティック ルーティング [38-3](#)
  - スタティック ルーティング サポート、拡張オブジェクト  
トラッキング [44-10](#)
  - スタティック ルーティングのプライマリ インターフェイ  
ス、設定 [44-11](#)
  - スタティック ルート
    - IPv6 で設定する [39-23](#)
    - 概要 [39-7](#)
    - 設定 [38-99](#)
  - スタティック ルートのプライマリ インターフェイス、設  
定 [44-11](#)
  - スタブ エリア、OSPF [38-34](#)
  - スタブ ルーティング、EIGRP [38-46](#)
  - スタンバイ グループ、クラスタ
    - 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
  - スタンバイ コマンドスイッチ
    - 仮想 IP アドレス [6-12](#)
    - 考慮事項 [6-12](#)
    - 設定する
    - 定義済み [6-2](#)
    - プライオリティ [6-11](#)
    - 要件 [6-3](#)
    - 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
  - スタンバイ タイマー、HSRP [42-11](#)
  - スタンバイ リンク [21-2](#)
  - スタンバイ ルータ [42-2](#)
  - スティッキー ラーニング [25-10](#)
  - ストーム制御
    - サポート [1-5](#)
    - しきい値 [25-2](#)
    - 設定する [25-3](#)
    - 説明 [25-1](#)
    - ディセーブルにする [25-5](#)
    - 表示する [25-23](#)
  - スヌーピング、IGMP [24-2](#)
  - スパニングツリーとネイティブ VLAN [13-19](#)
  - スパニングツリー プロトコル
    - 「STP」を参照
  - スプリット ホライズン、RIP [38-25](#)
  - スマート ログイン [31-1, 31-15](#)
  - スモールフレーム着信レート、設定する [25-5](#)
- 
- ## せ
- 正規の時刻源、説明 [7-2](#)
  - 制御プロトコル、IP SLA [43-4](#)
  - 制限する、アクセスを
    - RADIUS [9-19](#)
    - TACACS+ [9-11](#)
    - 概要 [9-1](#)
    - パスワードと権限レベル [9-2](#)
  - 制限付き VLAN
    - IEEE 802.1x で使用する [10-25](#)
    - 設定する [10-64](#)
    - 説明 [10-25](#)
  - 整合性検査、VTP バージョン 2 での [14-5](#)
  - 正常終了応答、VMPS [13-29](#)
  - 生成する、IGMP レポートを [21-3](#)
  - セカンダリ VLAN [16-2](#)
  - セキュア HTTP クライアント
    - 設定する [9-56](#)
    - 表示する [9-57](#)
  - セキュア HTTP サーバ
    - 設定する [9-55](#)
    - 表示する [9-57](#)
  - セキュア MAC アドレス
    - 最大数 [25-10](#)
    - 削除する [25-17](#)
    - スイッチ スタックと [25-20](#)
    - タイプ [25-10](#)
  - セキュア シェル
    - 「SSH」を参照
  - セキュア ポート

スイッチ スタックと **25-20**  
 設定する **25-9**  
 セキュア リモート接続 **9-47**  
 セキュリティ機能 **1-10**  
 セキュリティ、ポート **25-9**  
 設計する、ネットワークを、例 **1-22**  
 接続性の問題 **49-15, 49-16, 49-18**  
 接続、セキュア リモート **9-47**  
 設定可能な脱退タイマー、IGMP **24-6**  
 設定時の注意事項、Multi-VRF CE **38-83**  
 設定、初期  
     Express Setup **1-2**  
     デフォルト **1-19**  
 設定する、802.1x ユーザ ディストリビューション  
 を **10-69**  
 設定する、スモールフレーム着信レートを **25-5**  
 設定する、ポートベース認証の違反モードを **10-45**  
 設定の置換 **A-20**  
 設定の変更、ロギング **31-11**  
 設定の矛盾、失われたメンバ接続性から回復する **49-12**  
 設定のロールバック **A-20, A-21**  
 設定ファイル  
     DHCP で取得する **3-9**  
     TFTP サーバアクセスを制限する **32-18**  
     アーカイブする **A-21**  
     アップロードする  
         FTP を使用する **A-16**  
         RCP を使用する **A-19**  
         TFTP を使用する **A-13**  
         準備する **A-11, A-14, A-17**  
         理由 **A-9**  
     コピー時の無効な組み合わせ **A-5**  
     作成時と使用上の注意事項 **A-10**  
     システム接点と場所の情報 **32-17**  
     実行コンフィギュレーションを置き換える **A-20, A-21**  
     実行コンフィギュレーションをロールバックする **A-20, A-22**  
     スタートアップ コンフィギュレーションを消去する **A-20**

説明 **A-9**  
 タイプと場所 **A-10**  
 ダウンロードする  
     FTP を使用する **A-14**  
     RCP を使用する **A-18**  
     TFTP を使用する **A-12**  
     自動的に **3-20**  
     準備する **A-11, A-14, A-17**  
     理由 **A-9**  
 置換とロールバックの注意事項 **A-22**  
 テキスト エディタを使用して作成する **A-11**  
 デフォルト名 **3-20**  
 ファイル名を指定する **3-20**  
 保存された設定を削除する **A-20**  
 設定例、ネットワーク **1-22**  
 設定ロガー **31-11**  
 セットアップ プログラム  
     障害が発生したコマンドスイッチの置換 **49-11**  
     障害が発生したコマンドスイッチを置き換える **49-9**  
 選択  
     「スタック マスター」を参照

---

## そ

送信元 IP アドレス ベース転送、EtherChannel **36-9**  
 送信元 IP アドレス ベース転送と宛先 IP アドレス ベース  
 転送、EtherChannel **36-9**  
 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel **36-9**  
 送信元 MAC アドレス転送と宛先 MAC アドレス転送、  
 EtherChannel **36-9**  
 送信元アドレス  
     IPv4 ACL での **34-14**  
     IPv6 ACL **40-6**  
 即時脱退、IGMP **24-5**  
     イネーブルにする **41-9**  
 属性、RADIUS  
     ベンダー固有 **9-37**  
     ベンダー専用 **9-39**  
 属性と値のペア **10-14, 10-17, 10-23**

## ソフトウェア イメージ

tar ファイル形式、説明 [A-26](#)回復手順 [49-2](#)フラッシュ内での場所 [A-26](#)リロードのスケジューリング [3-25](#)

「ダウンロードとアップロード」も参照

## ソフトウェアの互換性

「スタック、スイッチ」を参照

## た

## ダイナミック ARP インспекション

ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリのプライオリティ [23-5](#)ARP キャッシュ ポイズニング [23-1](#)ARP スプーフィング攻撃 [23-1](#)

ARP パケットのレート制限

errdisable ステート [23-5](#)設定 [23-12](#)説明 [23-4](#)ARP 要求、説明 [23-1](#)DHCP スヌーピング バインディング データベース [23-2](#)DoS 攻撃、回避 [23-12](#)man-in-the middle 攻撃、説明 [23-2](#)インターフェイス信頼状態 [23-3](#)機能 [23-2](#)

クリア

統計情報 [23-17](#)ログ バッファ [23-17](#)

設定

着信 ARP パケットのレート制限 [23-4, 23-12](#)ログ バッファ [23-15](#)設定時の注意事項 [23-6](#)

設定する

DHCP 環境での [23-8](#)非 DHCP 環境の ACL [23-10](#)説明 [23-1](#)妥当性チェック、実行 [23-14](#)デフォルト設定 [23-6](#)

統計情報

クリア [23-17](#)表示 [23-17](#)ドロップされたパケットのロギング、説明 [23-5](#)ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス信頼状態 [23-3](#)

表示

ARP ACL [23-16](#)信頼状態およびレート制限 [23-16](#)設定および動作状態 [23-16](#)統計情報 [23-17](#)ログ バッファ [23-17](#)レート制限を超過した場合の errdisable ステート [23-5](#)

ログ バッファ

クリア [23-17](#)設定 [23-15](#)表示 [23-17](#)

ダイナミック アクセス ポート

設定する [13-31](#)定義済み [12-3](#)特性 [13-4](#)

ダイナミック アドレス

「アドレス」を参照

ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ

再確認する [13-32](#)接続のタイプ [13-31](#)説明 [13-29](#)トラブルシューティング [13-34](#)ダイナミック ルーティング [38-3](#)ISO CLNS [38-70](#)

タイプ オブ サービス

「ToS」を参照

タイム スタンプ、ログ メッセージの [31-8](#)

タイム ドメイン反射率計

「TDR」を参照

ダウンロード可能 ACL [10-21, 10-23, 10-74](#)

ダウンロードする

## イメージファイル

- CMS を使用する [1-2](#)
- FTP を使用する [A-32](#)
- HTTP を使用する [1-2, A-25](#)
- RCP を使用する [A-37](#)
- TFTP を使用する [A-28](#)
- 準備する [A-28, A-31, A-36](#)
- デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用する [A-25](#)
- 古いイメージを削除する [A-30](#)
- 理由 [A-25](#)

## 設定ファイル

- FTP を使用する [A-14](#)
- RCP を使用する [A-18](#)
- TFTP を使用する [A-12](#)
- 準備する [A-11, A-14, A-17](#)
- 理由 [A-9](#)

## タグ付きパケット

- IEEE 802.1Q [17-3](#)
- レイヤ 2 プロトコル [17-8](#)

## 単一方向リンク検出プロトコル

「UDLD」を参照

短時間でのコンバージェンス [21-3](#)短縮形、コマンドの [2-4](#)端末回線、パスワードを設定する [9-6](#)追跡リスト内のブール式 [44-4](#)

## て

ディスタンスベクトル プロトコル [38-3](#)

## ディスタンス ベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル

「DVMRP」を参照

## ディスタンスベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル

「DVMRP」を参照

ディファレンシエーテッド サービス アーキテクチャ、QoS [35-2](#)ディファレンシエーテッド サービス コード ポイント [35-2](#)

## 低密度波長分割多重方式

「CWDM SFP」を参照

## ディレクトリ

作業ディレクトリを表示する [A-4](#)

作成と削除 [A-4](#)

変更する [A-4](#)

デスクトップ テンプレート [5-12, 8-1](#)デバイス検出プロトコル [26-1, 27-1](#)

## デバイス センサー

制限 [10-57](#)

設定 [10-57](#)

## デバイス マネージャ

スイッチをアップグレードする [A-25](#)

説明 [1-2, 1-6](#)

帯域内管理 [1-7](#)

利点 [1-2](#)

## デバッグする

エラー メッセージ出力をリダイレクトする [49-23](#)

コマンドを使用する [49-21](#)

すべてのシステム診断をイネーブルにする [49-22](#)

特定機能に対してイネーブルにする [49-21](#)

デフォルト ゲートウェイ [3-17, 38-13](#)

## デフォルト設定

802.1x [10-39](#)

BGP [38-50](#)

## つ

ツイストペア イーサネット、単方向リンクを検出する [28-1](#)

## 追跡対象オブジェクト

- しきい値重みによる [44-5](#)
- しきい値パーセントによる [44-6](#)
- ブール式の使用 [44-4](#)

## 追跡リスト

- 設定 [44-3](#)
- タイプ [44-3](#)

追跡リスト内の重みしきい値 [44-5](#)追跡リスト内のパーセントしきい値 [44-6](#)

- CDP [26-2](#)
- DHCP [22-8](#)
- DHCP オプション 82 [22-9](#)
- DHCP スヌーピング [22-9](#)
- DHCP スヌーピング バインディング データベース [22-9](#)
- DNS [7-9](#)
- EIGRP [38-40](#)
- EtherChannel [36-11](#)
- Flex Link [21-8](#)
- HSRP [42-5](#)
- IEEE 802.1Q トンネリング [17-4](#)
- IGMP [46-42](#)
- IGMP スヌーピング [24-7, 41-6](#)
- IGMP フィルタリング [24-27](#)
- IP SLA [43-6](#)
- IPv6 [39-13](#)
- IP アドレス指定、IP ルーティング [38-6](#)
- IP ソース ガード [22-19](#)
- IP マルチキャスト ルーティング [46-11](#)
- IS-IS [38-71](#)
- LLDP [27-5](#)
- MAC アドレス テーブル [7-14](#)
- MAC アドレス テーブル移動更新 [21-8](#)
- MSDP [47-4](#)
- MSTP [19-15](#)
- Multi-VRF CE [38-83](#)
- MVR [24-21](#)
- OSPF [38-29](#)
- PIM [46-11](#)
- RADIUS [9-29](#)
- RIP [38-22](#)
- RMON [30-3](#)
- RSPAN [29-11](#)
- SDM テンプレート [8-5](#)
- SNMP [32-7](#)
- SPAN [29-11](#)
- SSL [9-54](#)
- STP [18-14](#)
- TACACS+ [9-14](#)
- UDLD [28-4](#)
- VLAN [13-9](#)
- VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス [13-19](#)
- VMPS [13-30](#)
- VTP [14-9](#)
- WCCP [45-5](#)
- イーサネット インターフェイス [12-18](#)
- オプションのスパンニングツリー設定 [20-12](#)
- 音声 VLAN [15-3](#)
- システム名とプロンプト [7-8](#)
- システム メッセージ ログギング [31-4](#)
- 自動 QoS [35-22](#)
- 初期スイッチ情報 [3-3](#)
- スイッチ スタック [5-22](#)
- ダイナミック ARP インスペクション [23-6](#)
- パスワードと権限レベル [9-2](#)
- バナー [7-11](#)
- 標準 QoS [35-37](#)
- フォールバック ブリッジング [48-4](#)
- プライベート VLAN [16-7](#)
- レイヤ 2 インターフェイス [12-18](#)
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-11](#)
- デフォルト ネットワーク [38-100](#)
- デフォルトの Web ベース認証の設定
- 802.1X [11-9](#)
- デフォルト ルーティング [38-3](#)
- デフォルト ルート [38-100](#)
- デュアル IPv4/IPv6 テンプレート [8-2, 39-6](#)
- デュアルアクションの検出 [36-6](#)
- デュアル プロトコル スタック
- IPv4 と IPv6 [39-6](#)
- SDM テンプレートのサポート [39-6](#)
- 電源管理 TLV [27-3, 27-7](#)
- 転送情報ベース
- 「FIB」を参照
- 転送遅延時間
- MSTP [19-24](#)

STP [18-24](#)

転送保留カウンタ

「STP」を参照

テンプレート、SDM [8-2](#)

## と

同期化、BGP [38-52](#)

統計情報

802.1X [11-17](#)

802.1x [10-79](#)

CDP [26-5](#)

IP マルチキャスト ルーティング [46-66](#)

LLDP [27-11](#)

LLDP-MED [27-11](#)

NMSP [27-11](#)

OSPF [38-38](#)

QoS の入力と出力 [35-87](#)

RMON グループ イーサネット [30-6](#)

RMON グループ履歴 [30-5](#)

SNMP 入力と出力 [32-19](#)

VTP [14-19](#)

インターフェイス [12-34](#)

到達可能性、IP SLA IP ホストのトラッキング [44-9](#)

トークンリング VLAN

VTP サポート [14-5](#)

サポート [13-6](#)

独立 VLAN [16-2, 16-3](#)

独立ポート [16-2](#)

都市ロケーション [27-3](#)

特権 EXEC モード [2-2](#)

ドメイン、ISO IGRP ルーティング [38-70](#)

ドメイン ネーム システム

「DNS」を参照

ドメイン名

DNS [7-8](#)

VTP [14-10](#)

トラストポイント、CA [9-52](#)

トラッキング、IP ルーティング ステートの [44-2](#)

トラッキング、インターフェイス ラインプロトコル ステートの [44-2](#)

トラッキング プロセス [44-1](#)

トラック ステート、IP SLA のトラッキング [44-9](#)

トラップ

MAC アドレス通知を設定する [7-15, 7-18, 7-19](#)

イネーブルにする [7-15, 7-18, 7-19, 32-13](#)

概要 [32-1, 32-5](#)

通知タイプ [32-13](#)

定義済み [32-4](#)

マネージャを設定する [32-13](#)

トラップ ドア メカニズム [3-2](#)

トラフィック

非フラグメント化 [34-6](#)

フラグメント化 [34-6](#)

フラッドのブロッキング [25-8](#)

分割 IPv6 [40-3](#)

トラフィックの抑制 [25-2](#)

トラフィック ポリシング [1-14](#)

トラブルシューティング

CiscoWorks での [32-4](#)

CPU 使用率 [49-28](#)

debug コマンド [49-21](#)

PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 [46-37](#)

ping による [49-15](#)

SFP セキュリティと識別情報 [49-14](#)

show forward コマンド [49-23](#)

traceroute での [49-18](#)

クラッシュ情報を表示する [49-26](#)

システム メッセージ ロギングでの [31-1](#)

接続性の問題 [49-15, 49-16, 49-18](#)

単方向リンクを検出する [28-1](#)

パケット転送を設定する [49-23](#)

トランキングのカプセル化 [1-10](#)

トランク

ISL [13-16](#)

許可 VLAN リスト [13-22](#)

設定 [13-21, 13-26, 13-27](#)

タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN [13-24](#)



パラレル [13-27](#)  
 非 DTP デバイスに対する [13-17](#)  
 プルーニング適格リスト [13-23](#)  
 ロードシェアリング  
     STP パス コストを設定する [13-27](#)  
     STP ポート プライオリティを使用する [13-25, 13-26](#)  
 トランク フェールオーバー  
     「リンクステート トラッキング」を参照  
 トランク ポート  
     カプセル化 [13-21, 13-26, 13-27](#)  
     設定する [13-21](#)  
     定義済み [12-3, 13-3](#)  
 トランスペアレント モード、VTP [14-4](#)  
 トンネリング  
     IEEE 802.1Q [17-1](#)  
     定義 [17-1](#)  
     レイヤ 2 プロトコル [17-8](#)  
 トンネル ポート  
     IEEE 802.1Q、設定 [17-6](#)  
     説明 [12-4, 17-1](#)  
     定義済み [13-4](#)  
     他の機能との非互換性 [17-6](#)

---

## な

内部ネイバー、BGP [38-52](#)  
 夏時間 [7-6](#)  
 等コスト ルーティング [1-16, 38-97](#)  
 名前付き IPv4 ACL [34-17](#)  
 並べ替え、ACL エントリ [34-17](#)

---

## に

二重タグ パケット  
     IEEE 802.1Q トンネリング [17-2](#)  
     レイヤ 2 プロトコル トンネリング [17-10](#)  
 認可  
     RADIUS での [9-35](#)

TACACS+ での [9-13, 9-17](#)  
 認証  
     AAA でのローカル モード [9-46](#)  
     EIGRP [38-45](#)  
     HSRP [42-11](#)  
     OpenIxx [10-32](#)  
     RADIUS  
         キー [9-29](#)  
         ログイン [9-31](#)  
     TACACS+  
         キー [9-14](#)  
         定義済み [9-12](#)  
         ログイン [9-15](#)  
         「ポートベース認証」を参照  
     認証キー、ルーティング プロトコル [38-111](#)  
     認証失敗 VLAN  
         「制限付き VLAN」を参照  
     認証の互換性、Catalyst 6000 スイッチとの [10-9](#)  
     認証マネージャ  
         CLI コマンド [10-10](#)  
         以前の 802.1x CLI コマンドとの互換性 [10-10 ~ ??](#)  
         概要 [10-8](#)

---

## ね

ネイティブ VLAN  
     IEEE 802.1Q トンネリング [17-4](#)  
     設定する [13-24](#)  
     デフォルト [13-24](#)  
 ネイバー、BGP [38-64](#)  
 ネイバー探索、IPv6 [39-4](#)  
 ネイバー探索および回復、EIGRP [38-39](#)  
 ネットワーク エッジ アクセス トポロジ  
     「NEAT」を参照  
 ネットワーク管理  
     CDP [26-1](#)  
     RMON [30-1](#)  
     SNMP [32-1](#)

ネットワーク タイム プロトコル

「NTP」を参照

ネットワークの設計

サービス [1-23](#)

パフォーマンス [1-23](#)

ネットワークの設定例

Multiple-Dwelling ネットワーク [1-31](#)

サーバ集約と Linux サーバ クラスタ [1-26](#)

冗長ギガビット バックボーン [1-26](#)

大規模ネットワーク [1-30](#)

高パフォーマンス ワイヤリング クローゼット [1-25](#)

中小規模ネットワーク [1-28](#)

長距離、広帯域トランスポート [1-33](#)

ネットワーク サービスを提供する [1-23](#)

ネットワーク パフォーマンスを改善する [1-23](#)

費用対効果が高いワイヤリング クローゼット [1-25](#)

ネットワーク パフォーマンス、IP SLA で測定する [43-3](#)

ネットワーク ポリシー TLV [27-2, 27-7](#)

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

パケットの変更、QoS での [35-20](#)

パス MTU 検出 [39-4](#)

パス コスト

MSTP [19-21](#)

STP [18-21](#)

パスワード

VTP ドメイン [14-10](#)

暗号化 [9-3](#)

回復 [49-3](#)

回復をディセーブルにする [9-5](#)

概要 [9-1](#)

クラスタでの [6-15](#)

セキュリティ [1-10](#)

設定する

Telnet [9-6](#)

イネーブル [9-3](#)

シークレットをイネーブルにする [9-3](#)

ユーザ名での [9-8](#)

デフォルト設定 [9-2](#)

バックアップ インターフェイス

「Flex Link」を参照

バックアップ スタティック ルーティング、設定 [44-13](#)

バックアップ リンク [21-2](#)

バナー

設定する

Message-of-the-Day ログイン [7-11](#)

ログイン [7-12](#)

デフォルト設定 [7-11](#)

表示時 [7-10](#)

パフォーマンス機能 [1-4](#)

パフォーマンス、ネットワークの設計 [1-23](#)

パラレル パス、ルーティング テーブル内 [38-97](#)

範囲

インターフェイスの [12-14](#)

マクロ [12-15](#)

## は

バージョン依存のトランスペアレント モード [14-5](#)

バージョンミスマッチ モード

説明 [5-13](#)

バーチャル プライベート ネットワーク

「VPN」を参照

ハードウェアの制限とレイヤ 3 インターフェイス [12-28](#)

バインディング

DHCP スヌーピング データベース [22-7](#)

IP ソース ガード [22-17](#)

アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ [22-6](#)

バインディング データベース

DHCP スヌーピング

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

アドレス、DHCP サーバ

「DHCP、Cisco IOS サーバ データベース」を参照

バインディング テーブル、DHCP スヌーピング

## ひ

- 非 IPv6 トラフィック、フィルタリング [40-4](#)
- 非 IP トラフィック フィルタリング [34-30](#)
- ピア、BGP [38-64](#)
- 非階層型ポリシー マップ
  - 設定時の注意事項 [35-40](#)
  - 説明 [35-10](#)
- 光ファイバ、単一方向リンクの検出 [28-1](#)
- 非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング [17-4](#)
- 非トランキング モード [13-18](#)
- 非認識 Type-Length-Value (TLV) サポート [14-5](#)
- 標準範囲 VLAN [13-5](#)
  - 設定時の注意事項 [13-6](#)
  - 設定する [13-5](#)
  - 定義済み [13-1](#)

## ふ

### ファイル

- crashinfo、説明 [49-26](#)
- tar
  - イメージファイルの形式 [A-26](#)
  - 作成する [A-6](#)
  - 抽出する [A-8](#)
  - 内容を表示する [A-7](#)

- 拡張 crashinfo
  - 説明 [49-26](#)
  - 場所 [49-26](#)

- 基本 crashinfo
  - 説明 [49-26](#)
  - 場所 [49-26](#)

- コピーする [A-5](#)
- 削除 [A-5](#)

- 内容を表示する [A-8](#)

### ファイル システム

- 使用可能なファイル システムを表示する [A-2](#)
- デフォルトを設定する [A-3](#)
- ネットワーク ファイル システム名 [A-5](#)

- ファイル情報を表示する [A-3](#)
- ローカル ファイル システム名 [A-1](#)
- 不一致、自動ネゴシエーション [49-13](#)
- フィルタ、IP
  - 「ACL、IP」を参照
- フィルタリング
  - IPv6 トラフィック [40-4, 40-8](#)
  - show コマンドと more コマンドの出力 [2-9](#)
  - VLAN での [34-33](#)
  - 非 IP トラフィック [34-30](#)
- フィルタリング、show コマンドと more コマンドの出力の [2-9](#)
- ブーティング
  - 特定のイメージ [3-22](#)
  - ブートプロセス [3-2](#)
  - ブートローダ、機能 [3-2](#)
- ブートストラップ ルータ (BSR)、説明 [46-7](#)
- ブートローダ
  - アクセス [3-23](#)
  - 環境変数 [3-23](#)
  - 説明 [3-2](#)
  - トラップ ドア メカニズム [3-2](#)
  - プロンプト [3-23](#)
- フェールオーバー サポート [1-9](#)
- フォールバック ブリッジング
- STP
  - hello BPDU インターバル [48-8](#)
  - VLAN ブリッジ STP [48-2](#)
  - VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ [48-6](#)
  - インターフェイスでディセーブル [48-10](#)
  - インターフェイス プライオリティ [48-7](#)
  - 最大アイドル時間 [48-9](#)
  - 転送遅延時間 [48-9](#)
  - パス コスト [48-7](#)
- SVI およびルーテッド ポート [48-1](#)
- VLAN ブリッジ STP [18-13](#)
- インターフェイスを接続する [12-11](#)
- 概要 [48-1](#)

- サポート **1-16**
- サポートされていないプロトコル **48-4**
- スタックの変更、影響 **48-3**
- 設定時の注意事項 **48-4**
- 説明 **48-1**
- デフォルト設定 **48-2**
- ブリッジグループ
  - 機能 **48-2**
  - 削除 **48-5**
  - 作成 **48-4**
  - サポートされる数 **48-5**
  - 説明 **48-2**
  - 表示 **48-11**
- ブリッジテーブル
  - クリア **48-11**
  - 表示 **48-11**
- フレーム転送
  - パケット転送 **48-2**
  - パケットのフラッディング **48-2**
- プロトコル、未サポート **48-4**
- 保護ポート **48-4**
- 複数認証 **10-15**
- 複数認証モード
  - 設定する **10-49**
- 物理ポート **12-2**
- プライオリティ
  - CoS の上書き **15-7**
  - CoS を信頼する **15-7**
  - HSRP **42-8**
- プライベート VLAN
  - IP アドレス指定 **16-3**
  - SDM テンプレート **16-4**
  - SVI **16-5**
  - エンドステーションアクセス **16-3**
  - コミュニティ VLAN **16-2, 16-3**
  - コミュニティ ポート **16-2**
  - サブドメイン **16-1**
  - スイッチ スタック **16-6**
  - セカンダリ VLAN **16-2**
  - 設定 **16-10**
  - 設定作業 **16-6**
  - 設定時の注意事項 **16-7, 16-9**
  - デフォルト設定 **16-7**
  - 独立 VLAN **16-2, 16-3**
  - 独立ポート **16-2**
  - トラフィック **16-5**
  - 複数のスイッチ間 **16-4**
  - プライマリ VLAN **16-1, 16-3**
  - ポート
    - コミュニティ **16-2**
    - 混合 **16-2**
    - 設定時の注意事項 **16-9**
    - 説明 **13-4**
    - 独立 **16-2**
    - ホスト ポートの設定 **16-12**
    - 無差別ポートの設定 **16-13**
  - マッピング **16-15**
  - 無差別ポート **16-2**
  - モニタリング **16-16**
  - 利点 **16-1**
  - プライベート VLAN エッジ ポート
    - 「保護ポート」を参照
  - プライマリ VLAN **16-1, 16-3**
  - プライマリ リンク **21-2**
  - フラッシュ デバイス、番号 **A-1**
  - フラッドトラフィック、ブロッキング **25-8**
  - ブリッジグループ
    - 「フォールバックブリッジング」を参照
  - ブリッジドパケット、ACL **34-43**
  - ブリッジプロトコルデータユニット
    - 「BPDU」を参照
  - プルーニング、VTP
    - イネーブルにする
      - VTP ドメインで **14-16**
      - ポート上での **13-23**
  - 概要 **14-6**
  - ディセーブルにする
    - VTP ドメインで **14-17**

ポート上での **13-24**

例 **14-7**

プルーニング適格リスト

VLAN **14-17**

VTP プルーニングの **14-6**

変更する **13-23**

プレフィックスリスト、BGP **38-61**

フロー制御

設定する **12-22**

説明 **12-22**

フローチャート

QoS 出力キューイングとスケジューリング **35-18**

QoS 入力キューイングとスケジューリング **35-16**

QoS 分類 **35-7**

QoS ポリシングとマーキング **35-11**

ブロードキャスト ストーム **25-1, 38-15**

ブロードキャストのフラッディング **38-18**

ブロードキャスト パケット

ダイレクト **38-15**

フラッディング **38-15**

フローベース パケット分類 **1-14**

プロキシ ARP

IP ルーティングがディセーブル **38-13**

設定 **38-12**

定義 **38-10**

プロキシ レポート **21-4**

ブロッキング パケット **25-8**

プロトコル依存モジュール、EIGRP **38-40**

プロトコル ストーム プロテクション **25-21**

プロバイダー エッジ デバイス **38-82**

プロビジョニングされるスイッチと IP ソース ガード **22-20**

プロビジョニング、スイッチ スタックの新メンバの **5-8**

プロファイル外マークダウン **1-14**

へ

ヘルプ、コマンドライン **2-3**

## 編集機能

イネーブルとディセーブル **2-7**

使用されたキーストローク **2-7**

ラップされた行 **2-9**

## ほ

防止する、不正アクセスを **9-1**

ボーダー ゲートウェイ プロトコル

「BGP」を参照

## ポート

10 ギガビット イーサネット モジュール **12-7**

IEEE 802.1Q トンネル **13-4**

VLAN の割り当て **13-11**

アクセス **12-3**

スイッチ **12-2**

スタティック アクセス **13-3, 13-11**

セキュア **25-9**

ダイナミック アクセス **13-4**

トランク **13-3, 13-16**

ブロッキング **25-8**

保護される **25-6**

ルーテッド **12-4**

## ポート ACL

タイプ **34-4**

定義 **34-2**

ポート VLAN ID TLV **27-2**ポート記述 TLV **27-2**ポート シャットダウン応答、VMPS **13-29**

## ポート セキュリティ

QoS 信頼境界と **35-45**

イネーブル化 **25-20**

違反 **25-10**

エージング **25-18**

スタック構成と **25-20**

スティッキー ラーニング **25-10**

設定 **25-13**

説明 **25-9**

デフォルト設定 **25-12**

- トランク ポートでの **25-15**
- 表示 **25-23**
- プライベート VLAN の **25-20**
- 他の機能との **25-12**
- ポートチャネル
  - 「EtherChannel」を参照
- ポートの信頼状態
  - サポート **1-14**
- ポート プライオリティ
  - MSTP **19-20**
  - STP **18-20**
- ポート ブロッキング **1-5, 25-8**
- ポートベース認証
  - ACL と RADIUS Filter-Id 属性での **10-35**
  - EAPOL-Start フレーム **10-6**
  - EAP-Request/Identity フレーム **10-6**
  - EAP-Response/Identity フレーム **10-6**
  - VLAN 割り当て
    - AAA 認証 **10-46**
    - 設定タスク **10-20**
    - 説明 **10-18**
    - 特性 **10-19**
  - Wake-on-LAN、説明 **10-29**
  - アカウンティング **10-17**
  - アクセス不能認証バイパス
    - 設定する **10-66**
    - 説明 **10-26**
    - 注意事項 **10-41**
  - イネーブル化
    - 802.1x 認証 **11-11**
  - 音声 VLAN
    - PVID **10-28**
    - VVID **10-28**
    - 説明 **10-28**
  - 音声認識 802.1x セキュリティ
    - 設定する **10-43**
    - 説明 **10-33, 10-43**
  - 開始およびメッセージ交換 **10-6**
  - カプセル化 **10-3**
- クライアント、定義 **10-3, 11-2**
- ゲスト VLAN
  - 設定時の注意事項 **10-24, 10-25**
  - 説明 **10-24**
- 柔軟な認証の順序設定
  - 概要 **10-32**
  - 設定する **10-77**
- 準備状態チェック
  - 設定する **10-42**
  - 説明 **10-18, 10-42**
- スイッチ
  - RADIUS クライアント **10-3**
  - プロキシとして **10-3, 11-2**
  - スイッチ サプリカント
    - 概要 **10-33**
    - 設定する **10-72**
  - スタックの変更、影響 **10-12**
  - 設定
    - RADIUS サーバ **10-48, 11-13**
    - 違反モード **10-45**
    - スイッチからクライアントへの再送信時間 **10-52**
    - スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 **10-53, 10-54**
    - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ **10-47, 11-11**
    - 待機時間 **10-52**
  - 設定時の注意事項 **10-40, 11-9**
  - 設定する
    - 802.1x 認証 **10-46**
    - アクセス不能認証バイパス **10-66**
    - クライアントの手動での再認証 **10-51**
    - ゲスト VLAN **10-64**
    - 制限付き VLAN **10-64**
    - 定期的な再認証 **10-51**
    - ホスト モード **10-49**
  - 説明 **10-1**
  - ダウンロード可能 ACL とリダイレクト URL
    - 概要 **10-21 ~ 10-23**
    - 設定 **10-74 ~ 10-76**

- デバイスの役割 [10-3, 11-2](#)
  - デフォルト値へのリセット [10-79](#)
  - デフォルト設定 [10-39, 11-9](#)
  - 統計情報の表示 [10-79, 11-17](#)
  - 統計情報、表示する [10-79](#)
  - 認証サーバ
    - RADIUS サーバ [10-3](#)
    - 定義 [10-3, 11-2](#)
  - 複数認証 [10-15](#)
  - 方式リスト [10-46](#)
  - ポート
    - 音声 VLAN [10-28](#)
    - 許可および無許可 [10-11](#)
    - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド [10-11](#)
  - ポートあたりのデバイスの最大数 [10-42](#)
  - ポート セキュリティ
    - 説明 [10-29](#)
  - ホスト モード [10-12](#)
  - 前のリリースからアップグレードする [35-34](#)
  - マジック パケット [10-29](#)
  - ユーザ単位 ACL
    - AAA 許可 [10-46](#)
    - 設定タスク [10-21](#)
    - 説明 [10-20](#)
  - ユーザ単位の ACL
    - RADIUS サーバ属性 [10-20](#)
  - ユーザ ディストリビューション
    - 概要 [10-31](#)
    - 注意事項 [10-31](#)
  - ポートベース認証方式、サポートされる [10-8](#)
  - ポート メンバーシップ モード、VLAN [13-3](#)
  - 保護ポート [1-11, 25-6](#)
  - 補助 VLAN
    - 「音声 VLAN」を参照
  - ホスト、ダイナミック ポートでの制限 [13-34](#)
  - ホスト ポート
    - 種類 [16-2](#)
    - 設定 [16-12](#)
  - ホスト名、クラスタでの [6-14](#)
  - ポリシーベース ルーティング
    - 「PBR」を参照
  - ポリシー マップ、QoS の
    - SVI での階層
      - 設定時の注意事項 [35-40](#)
      - 設定する [35-60](#)
      - 説明 [35-12](#)
    - 階層 [35-9](#)
    - 説明 [35-8](#)
    - 特性 [35-55](#)
    - 表示する [35-88](#)
    - 物理ポートでの非階層
      - 設定時の注意事項 [35-40](#)
      - 説明 [35-10](#)
  - ポリシング
    - 階層
      - 「階層型ポリシー マップ」を参照
    - 説明 [35-4](#)
    - トークン バケット アルゴリズム [35-10](#)
  - ポリシング機能
    - 数 [35-40](#)
    - 設定する
      - 各一致トラフィック クラスでの [35-55](#)
      - 複数トラフィック クラスでの [35-67](#)
    - 説明 [35-4](#)
    - タイプ [35-10](#)
    - 表示する [35-87](#)
  - ポリシング済み DSCP マップ、QoS での [35-71](#)
- 
- ## ま
- マーキング
    - 集約ポリシング機能でのアクション [35-67](#)
    - 説明 [35-4, 35-9](#)
  - マジック パケット [10-29](#)
  - マッピング テーブル、QoS の
    - 設定する
      - CoS/DSCP [35-69](#)

DSCP [35-69](#)

DSCP/CoS [35-72](#)

DSCP/DSCP 変換 [35-73](#)

IP precedence/DSCP [35-70](#)

ポリシング済み DSCP [35-71](#)

説明 [35-13](#)

マルチオペレーションのスケジューリング、IP SLA [43-5](#)

マルチキャスト TV アプリケーション [24-20](#)

マルチキャスト VLAN [24-19](#)

マルチキャスト VLAN レジストレーション

「MVR」を参照

マルチキャスト グループ

加入 [24-3](#)

スタティックな加入 [24-11, 41-8](#)

即時脱退 [24-6](#)

脱退 [24-5](#)

マルチキャスト ストーム [25-1](#)

マルチキャスト パケット

ACL [34-45](#)

ブロッキング [25-8](#)

マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリング [24-18, 41-12](#)

マルチキャスト ルータ ポート、追加する [24-10, 41-8](#)

マルチドメイン認証

「MDA」を参照

## み

ミニ アクセス ポイント

「POP」を参照

ミラーリング トラフィック、分析用の [29-1](#)

## む

無許可ポート、IEEE 802.1x での [10-11](#)

無差別ポート

設定 [16-13](#)

定義 [16-2](#)

矛盾、設定 [49-12](#)

## め

メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した [7-10](#)

メトリック、BGP 内 [38-57](#)

メトリック変換、ルーティング プロトコル間 [38-104](#)

メトロ タグ [17-2](#)

メモリの整合性 [1-6, 49-27](#)

メモリの整合性検査エラー

例 [49-27](#)

メモリの整合性検査ルーチン [1-6, 49-27](#)

メンバーシップ モード、VLAN ポート [13-3](#)

メンバスイッチ

失われた接続性から回復する [49-12](#)

管理する [6-17](#)

「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタンバイ コマンドスイッチ」も参照

自動検出 [6-5](#)

定義済み [6-2](#)

パスワード [6-14](#)

要件 [6-4](#)

## も

モジュール番号 [12-12](#)

モニタリング

BGP [38-69](#)

CDP [26-5](#)

CEF [38-96](#)

EIGRP [38-47](#)

Flex Link [21-14](#)

HSRP [42-13](#)

IEEE 802.1Q トンネリング [17-18](#)

IGMP

スヌーピング [24-17, 41-12](#)

フィルタ [24-31](#)

IP

アドレス テーブル [38-19](#)



マルチキャスト ルーティング **46-65**  
 ルート **38-113**  
 IP SLA 動作 **43-14**  
 IPv4 ACL 設定 **34-46**  
 IPv6 **39-31**  
 IPv6 ACL 設定 **40-9**  
 IS-IS **38-80**  
 ISO CLNS **38-80**  
 MAC アドレス テーブル移動更新 **21-14**  
 MSDP ピア **47-18**  
 Multi-VRF CE **38-95**  
 MVR **24-25**  
 OSPF **38-38**  
 RP マッピング情報 **46-37**  
 SFP ステータス **12-35, 49-14**  
 Source-Active メッセージ **47-18**  
 SSM マッピング **46-24**  
 VLAN **13-16**  
   フィルタ **34-46**  
   マップ **34-46**  
 VMPS **13-33**  
 VTP **14-19**  
 アクセス グループ **34-46**  
 インターフェイス **12-34**  
 オブジェクト トラッキング **44-14**  
 機能 **1-17**  
 スイッチ間でのトラフィック フロー **30-1**  
 速度モードとデデュプレックス モード **12-21**  
 単方向リンク用のケーブル **28-1**  
 トラフィックの抑制 **25-23**  
 トンネリング **17-18**  
 フォールバック ブリッジング **48-11**  
 プライベート VLAN **16-16**  
 プロンプでの分析用のネットワーク トラフィック **29-2**  
 ポート  
   ブロッキング **25-23**  
   保護 **25-23**

マルチキャスト ルータ インターフェイス **24-18, 41-12**  
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング **17-18**

---

## ゆ

ユーザ EXEC モード **2-2**  
 ユーザ単位 ACL と Filter-Id **10-9**  
 ユーザ データグラム プロトコル  
   「UDP」を参照  
 ユーザ名ベース認証 **9-8**  
 優先処理、トラフィックの  
   「QoS」を参照  
 優先遅延、デフォルト設定 **21-8**  
 優先、デフォルト設定 **21-8**  
 誘導ユニキャスト要求 **1-7**  
 ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング **1-7**  
   CPU パケットと **7-22**  
   スタティック アドレスを追加する **7-22**  
   設定時の注意事項 **7-22**  
   説明 **7-21**  
   ブロードキャスト MAC アドレスと **7-22**  
   マルチキャスト アドレスと **7-22**  
   ルータ MAC アドレスと **7-22**  
 ユニキャスト ストーム **25-1**  
 ユニキャスト トラフィック、ブロッキング **25-8**

---

## よ

予約アドレス、DHCP プールでの **22-30**

---

## ら

ライン コンフィギュレーション モード **2-3**

---

## り

リークする、IGMP レポートを **21-4**  
 リセット、BGP 内 **38-55**

リダイレクト URL **10-21, 10-23, 10-74**

リトライ回数、VMPS、変更する **13-33**

リモート SPAN **29-3**

「RSPAN」を参照

リモート コピー プロトコル

「RCP」を参照

リモート ネットワーク モニタリング

「RMON」を参照

履歴

コマンドを呼び出す **2-6**

説明 **2-5**

ディセーブルにする **2-6**

バッファ サイズを変更する **2-6**

履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番号 **31-10**

リロードする、ソフトウェアを **3-24**

リンク冗長性

「Flex Link」を参照

リンクステート トラッキング

設定する **36-28**

説明 **36-25**

リンクステート プロトコル **38-3**

リンク、単方向 **28-1**

リンクの失敗、単一方向の検出 **19-8**

リンク ローカル ユニキャスト アドレス **39-4**

隣接テーブル、CEF **38-96**

## る

ルータ ACL

タイプ **34-5**

定義 **34-2**

ルータ ID、OSPF **38-38**

ルーティング

情報の再配信 **38-101**

スタティック **38-3**

ダイナミック **38-3**

デフォルト **38-3**

ルーティングできないプロトコルの転送 **48-1**

ルーティング ドメイン連合、BGP **38-66**

ルーティング プロトコルのアドミニストレーティブ ディスタンス **38-99**

ルーテッド パケット、ACL **34-44**

ルーテッド ポート

IP アドレス **12-28, 38-5**

スイッチ クラスタでの **6-9**

設定 **38-5**

定義済み **12-4**

ルート ガード

イネーブルにする **20-18**

サポート **1-9**

説明 **20-10**

ルート計算タイマー、OSPF **38-36**

ルート スイッチ

MSTP **19-18**

STP **18-17**

ルート選択、BGP **38-56**

ルート ターゲット、VPN **38-83**

ルート ダンプニング、BGP **38-68**

ルート マップ

BGP **38-59**

ポリシーベース ルーティング **38-105**

ルート リフレクタ、BGP **38-67**

ループ ガード

イネーブルにする **20-19**

サポート **1-9**

説明 **20-11**

## れ

例

ネットワーク設定 **1-22**

レイヤ 2 traceroute

1 ポートに複数のデバイス **49-18**

ARP **49-17**

CDP **49-17**

IP アドレスおよびサブネット **49-17**

MAC アドレスおよび VLAN **49-17**

使用上の注意事項 [49-17](#)

説明 [49-17](#)

ブロードキャストトラフィック [49-17](#)

マルチキャストトラフィック [49-17](#)

ユニキャストトラフィック [49-17](#)

レイヤ2 インターフェイス、デフォルト設定 [12-18](#)

レイヤ2 フレーム、CoS での分類 [35-2](#)

レイヤ2 プロトコルトンネリング

EtherChannel の設定 [17-15](#)

設定 [17-10](#)

注意事項 [17-12](#)

定義 [17-8](#)

デフォルト設定 [17-11](#)

レイヤ2 プロトコルパケットのシャットダウンしきい値 [17-11](#)

レイヤ2 プロトコルパケットのドロップしきい値 [17-12](#)

レイヤ3 インターフェイス

IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを割り当てる [39-17](#)

IPv6 アドレスを割り当てる [39-14](#)

IP アドレスの割り当て [38-7](#)

タイプ [38-5](#)

レイヤ2 モードからの変更 [38-7, 38-88](#)

レイヤ3 機能 [1-15](#)

レイヤ3 パケット、分類方式 [35-2](#)

レポート抑制、IGMP

説明 [24-6](#)

ディセーブルにする [24-17, 41-11](#)

「システム メッセージ ロギング」を参照

ロケーション TLV [27-3, 27-7](#)

---

## わ

ワイヤードロケーションサービス

概要 [27-3](#)

設定する [27-10](#)

表示する [27-11](#)

ロケーション TLV [27-3](#)

---

## ろ

ローカル SPAN [29-2](#)

ロード バランシング [42-4](#)

ロギング メッセージ、ACL [34-10](#)

ログイン認証

RADIUS での [9-31](#)

TACACS+ での [9-15](#)

ログイン バナー [7-10](#)

ログ メッセージ

